

<2021年度>

第 1 回 理 事 会 議 案 書

2 0 2 1 年 5 月 2 0 日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

2021年度 第1回理事会 議事次第

一般社団法人 全国 鐵 構 工 業 協 会

場 所： 鉄鋼会館 704 号室

日 時： 2021 年 5 月 20 日 (木)
14:00~17:00

1. 開会の辞

2. 定足数確認報告 (定款第 36 条)

3. 会長挨拶

4. 前回理事会議事録の確認

5. 審議事項

資 料

第 1 号議案 2020 年度 事業報告

及び決算承認の件 ----- [理 21-1-議 1] (p03-40)

第 2 号議案 2021 年度 正会員会費額承認の件 ----- [理 21-1-議 2] (p41)

第 3 号議案 第 54 回通常総会招集及び議案承認の件 --- [理 21-1-議 3] (p43-49)

6. 報告事項

(1) 2020 年度 事業報告等に係る

監事による監査実施について---[理 21-1-報 1] (p51-52)

(2) 退任理事に対する感謝状、記念品等の贈呈について ----[理 21-1-報 2] (p53-54)

(3) 委員会等活動状況報告

①技術委員会 ----- [理 21-1-報 3①] (p55-58)

②事業継承対策WG ----- [理 21-1-報 3②] (p59)

③ホームページ改造WG ----- [理 21-1-報 3③] (p60-68)

④採用ポスター作成WG ----- [理 21-1-報 3④] (p69-74)

(4) その他 ・総会の開催・運営要領について ----- [理 21-1-報 4①] (p75)

・他

7. その他の定例報告事項

(1) 構成員登録状況 ----- [理 21-1-他 1] (p77-80)

(2) 着工面積と推計鉄骨需要量 ----- [理 21-1-他 2] (p81)

(3) 主要会議日程 ----- [理 21-1-他 3] (p82)

(4) 支部報告 ----- [理 21-1-他 4] (p83-100)

(5) その他

8. 閉会の辞

以上

第1号議案 2020年度 事業報告及び決算承認の件

定款第43条第2項および第3項により、別紙(議案書)の2020年度事業報告(p3-27)及び決算報告(p28-40)について、承認いただきたい。

第2号議案 2021年度 正会員会費額承認の件

定款第7条により、別紙(議案書 p41)の2021年度正会員会費額について、承認いただきたい。

(なお、本金額は、構成員会費規定に定めるグレード別年会費額から1割減じた単価に2021年4月1日時点の各グレードの構成員数を乗じて算出した金額です)

第3号議案 第54回通常総会招集及び議案承認の件

定款第15条及び第32条第3号により、第54回通常総会を、別紙(議案書 (p43~49)のとおり招集することについて、また、その議案[別冊]についてご確認、ご審議のうえ、承認いただきたい。

2020年度 事業報告

〔 自 2020年 4 月 1 日
至 2021年 3 月31日 〕

2021年 6 月11日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

I. 事業の状況

1. 全体概況

(1) 事業環境

2020年度の鉄骨需要は、東京五輪・パラリンピック開催に向けて建設が進められてきた関連施設の工事が前年度までに完了したことに加え、新規物件の発注手控え等により端境期となった。更に、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言や諸活動の自粛による発注の遅れなどが加わり暦年の推計鉄骨需要量は、405万トン（対前年比14.2%減）と大幅に減少した。年度末を迎えても新型コロナウイルスの収束は見通せず、当業界を取巻く環境だけでなく日本経済全体の不透明感が継続する中で年度を終えた。

(2) 事業の実施状況

以上のように、この数年続いた安定した状態とは全く異なる不透明な環境へと大きく変化する中で、安定した事業推進が困難な状況が年度を通して続き、一部の事業の延期や規模の縮小を余儀なくされた。この様な厳しい環境の中にあったが、当協会は、重点課題である「品質管理体制の改善・強化」、「人材の育成と教育」、「需要変動への的確な対応」等を中心に、様々な工夫により実施可能となったことについては、着実に実行に移した。

具体的には、「大臣認定工場の品質管理体制の保持状態の確認」、「決算書の読み方・活かし方DVD」の配布と活用促進、「原価管理の確実な実施に向けた諸施策の実施」、「高規格材鉄骨製作支援制度」の円滑な運用等の事業を推進した。

さらに、中期的な課題である、「事業継続・継承」、「デジタル技術の活用による業務効率化」、「品質管理」に関して、特別委員会の検討を経て、「災害時のBCP策定」「事業継承対策」「リモート製品検査への対応」等、より具体的な取組み課題を抽出し、各課題に取り組むためのワーキンググループ（WG）を設置して検討をスタートさせた。

2. 個別事業の実施状況

(1) 会員共益事業

1) 経営改善関連事業

① 業界状況の把握

- ・新型コロナウイルス感染拡大に対応して、協会として適切な施策を講じるための情報収集を目的とし、構成員の事業への影響等、実態調査を行い、その結果を各県組合等、関係先に報告した。
- ・「働き方改革」のより確実な実施に向け、構成員企業業績実態調査等により実施状況を把握した上で、必要な情報を各県組合、構成員に適宜発信した。

② 元請下請間の契約取引関係適正化対策の推進

- ・構成員企業業績実態調査を継続実施し、経営状況・契約取引関係の実情を把握した。

- ・2019年度に作成した業界内統一の見積条件書について、構成員への周知を進めるとともに、活用促進を図った。

③円滑な資材調達と鋼材の有効活用に向けた取組み

- ・2018年から2019年にかけて深刻な状況となった高力ボルトの調達難問題の再発防止に向けて、防止策の一つと考えられるサイズ集約について、鉄建協、ボルトメーカー等、関係者間で協議を実施した。
- ・鋼材の余材が発生した場合、鋼材発注時に予定していた物件以外にも有効活用出来るよう、ミルシートに表記されている「需要家名」や「工事名」の表記方法の改善と合理的な鋼材の管理手法について関係者間で協議を行った。

④需要変動への的確な対応

- ・今後も継続することが予想される高レベルの高層大型プロジェクト需要に柔軟かつ円滑に対応できるよう、2017年度に制度化した「高規格材鉄骨製作支援制度」の円滑な運用に努めた。
- ・市場環境の悪化の中で懸念される原価割れの安値受注を防止するため、原価管理の重要性を構成員各社に訴えるとともに、原価管理実施状況について調査を行い、実施していない事業者に対する対応について検討を進めた。

⑤共同積算関連事業の推進

- ・共同積算情報システムについて、着実な利用を推進した。

⑥他団体・他地域との交流促進

- ・賛助会員との関係強化を図るために毎年開催していた「賛助会員との懇談会」について、今年度も継続実施する予定で実施案を作成したが、新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止とした。

⑦事業継続・事業継承の支援

- ・災害時のみならず、新型コロナ感染症対応も含めた非常時の事業継続計画（BCP）に関する検討を開始した。
- ・今後当業界においても重大な問題になると予想される事業継承問題に関する検討を開始した。

2) 教育関連事業

①各種教育・人材育成施策の実施

- ・時間と場所を選ばず、繰り返し自習が出来る「映像教材」として、2019年度に作成に着手した「決算書の読み方・活かし方DVD」を完成させ、各県組合に配布した。

②将来の業界リーダーの育成

- ・青年部会の活動を支援するため、11月20日に青年部会各地域ブロック長と全構協三役との意見交換会を開催し、青年部会活動の活性化のための助言等を行うとともに、全構協の事業のあり方、青年部と全構協が連携して事業活動を行うための方策等について意見交換を行った。

3) その他の会員共益事業

①広報活動の推進

- ・会報第175号～176号を発行し、当協会の活動について、タイムリーかつ、分かりやすい情報の提供を行った。
- ・鋼構造ジャーナルを、行政機関等広報効果が期待できる関係先に送付し、業界状況の周知と理解化活動に努めた。
- ・会員、構成員へのタイムリーな情報発信と迅速な情報共有を図るため、新たにWGを設置し、全構協ホームページのリニューアルに関する検討を開始した。

②安全意識の高揚

- ・安全ポスターを作成し、各県組合と全構成員に配布し、安全意識の浸透を図った。
(全国安全週間(7月)、年末年始無災害運動(12月～1月))

③記者会の協力を得ての広報活動

- ・記者会の協力を得て、全構協及び各支部の諸活動ならびに鉄骨業界の現状等について周知し、鉄骨業界や当協会についての理解が深まるよう広報活動を推進した。

④人材の確保に向けた各種検討の実施

- ・鉄骨製造業界の社会的認知度が低く、このことが円滑な採用活動の妨げとなっているとの会員からの指摘に応え、大学、高校、職業訓練校等の就職支援窓口に掲示する業界紹介ポスター、リーフレット及びWebサイトの作成の検討を開始した。
- ・鉄骨製作技能者の人材確保が困難な状況が今後さらに深刻化し、外国人労働者への依存度が高まると予想されることに対応し、特定技能外国人の受入業種指定に向けた調査・研究を継続した。

⑤青年部の活動の支援

- ・青年部各地域の事業活動を支援するため、申請があった全国24都道府県の青年部に対して「助成金」の給付を行った。

(2) 共済事業

1) 生命共済加入率の向上

- ・保有契約高目標350億円に対して、2021年4月責任開始時点の保有契約高は約332億円(目標達成率95%、前年同月比99%)、保険事業収入(制度運営費、配当金)は12,909千円(予算比93%、前年比79%)であった。
- ・2019年度分の配当金実績(加入事業所向け、正会員向け、全構協向け合計)は、63,639千円(前年比68%)で、2020年10月末までに還付を完了した。

2) 指定塗料の販売促進

- ・販売目標缶数30万缶に対して、納入実績は277,936缶(目標達成率93%、前年比99%)であった。

3) 鋸刃の販売促進

- ・目標売上高150,000千円に対して、売上実績は121,527千円(5,438本、目標達成率81%、前年比89%)、販売協力費収入は1,351千円(予算比97%、前年比86%)であった。

4) オートリースの利用促進

- ・目標台数10台に対して、利用実績は新規4台、中古16台となり、制度スタートからの累計台数は、212台となった。

5) 損害保険（業務災害補償制度）の加入促進

- ・損害保険会社や各県組合事務局と連携して本制度の特徴やメリットを各構成員に周知し、加入促進を図った。しかし、生命共済との競合を避ける配慮から十分な加入促進活動を行うことができず、2020年度の加入実績は、18件にとどまった。

(3) 技術開発・普及事業

1) 技術研究関連事業

①鉄骨技術研究開発助成制度の運用

- ・会員各社の研究開発意欲を活性化させ、鉄骨業界の技術力向上と健全な発展を図ることを目的に制定した本制度の趣旨にそって、鉄骨業界にとって有益となり得るテーマを選定し、研究開発費を助成した。
- ・2019年度助成テーマ（3件）の研究成果を全構協ホームページ及び鉄構技術8月号（株鋼構造出版発行）にて公表した。

テーマ	実施者
鉄骨建方予定日より2～4ヶ月延期された場合のさび止め塗装（剝離を起こさない）の施工方法について	株式会社ムラヤマ
溶接部の自主検査におけるフェーズドアレー超音波探傷法による溶接部の検査の活用法について	東京鉄構工業協同組合
溶融亜鉛めっき高力ボルトの過大孔（一面接合試験体）	協同組合広島県鉄構工業会

- ・2021年度助成テーマの選考を行い、1件が採択された。研究期間は2021年4月より1年間。

テーマ	実施者
鉄骨溶接部のUT検査法とPA検査法の検査結果の比較検証を行い、PA検査法の活用法について検討する	東京鉄構工業協同組合

- ・本制度の全構協実施型として選考を行い、採択された下表の案件について、技術委員会が作成し理事会の承認を得た実施計画に基づき、実験を神戸大学に委託し研究を開始した。本件は、技術委員会に溶接施工WGを設置して推進中。

全構協実施型テーマ	申請者
半自動CO ₂ アーク溶接によるロールコラムー通しダイアフラムの適切な溶接施工法の提案	兵庫県鉄工建設業協同組合

②鉄骨製作工場におけるデジタル化の研究

・日報のデジタル化

工事の原価計算の効率化と業務改善を目的に、構成員各社が実施している日報の事例調査を3月に行い、調査結果を参考に、鉄骨製作工場に適した日報デジタル化の手段と活用方法についての研究を開始した。(日報デジタル化検討WG)

・リモートによる製品検査対応

製品検査のリモート化に伴う課題を抽出するため、リモート製品検査の実施事例を集める調査を3月に行い、実態を把握したうえで、リモートによる製品検査対応についての研究を開始した。(リモート製品検査検討WG)

③関連団体との共同研究及び委員派遣

・関連団体が主催する各種委員会に、各県組合理事及び全構協鉄骨技術アドバイザーなどから適任者を派遣した。

- ・日本建築学会 「JASS6 鉄骨工事運営委員会」 他
- ・日本溶接協会 「要員認証管理委員会」 他
- ・日本非破壊検査協会 「諮問委員会」 他
- ・日本鋼構造協会 「建築鉄骨品質管理機構各委員会」
「冷間成形角形鋼管の溶接・加工品質の向上と施工合理化委員会」 他
- ・鉄骨製作支援協議会 「鉄骨技術者に対する検討WG」「建築鉄骨技能士(仮称)の検討WG」「ミルシートの表記改善WG」
「高力ボルトのサイズ集約WG」

2) 技術普及関連事業

①「工程管理表」の活用支援

・2020年3月、各県組に配布した「工程管理表」(全構協推奨様式)を全構協ホームページの会員専用コーナーに掲載するとともに、各県組合説明者への講習会を開催した4支部について、開催費用の一部を支援した。

②「溶接ヒューム」規制に関する対応

・厚生労働省が、「溶接ヒューム」及び「塩基性酸化マンガン」による労働者の健康障害を防止するために改正した労働安全衛生関係法令(2021(令和3)年4月1日施行)に関する情報を収集し、鉄骨製作工場に課せられる健康障害防止措置等を要約して会員に周知した。なお、本件は、技術委員会に安全衛生WGを設置して、引き続き情報収集を行い、適宜、全構協ホームページの会員専用コーナーに掲載して周知する。

③NDI-UT(レベル1)資格取得支援講習会の開催

・日本非破壊検査協会が認証するNDI-UT(レベル1)資格取得を支援するため、実技試験受験者を対象とした「実技試験対策講習会」を行った。

講習内容	実施期間	開催地(会場:ポリテクセンター)	受講者数
実技試験対策講習会(2日間)	2020年11月	宮城、千葉、愛知、大阪、福岡	88名

④各種資格の取得支援

- ・ 建築鉄骨（製品・超音波）検査技術者の資格取得を促進するため、両資格の受験対策講習会受講料の一部を補助し資格取得を支援した。補助した受講者数は下表の通り。

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
新規 実技講習会	282名	79名
更新 実技講習会	317名	105名

⑤技能者育成支援活動への参画

- ・ 厚生労働省が推進する「中小企業等担い手育成支援事業」及び「就職氷河期世代就労支援事業」を活用して日本溶接協会が行う諸活動に協力し、溶接技能資格（SA-2F）の取得支援及び就職氷河期世代（35～55才）の正規雇用化を推進した。

⑥技術関連ホームページの充実

- ・ 構成員大臣認定取得工場の掲載情報を更新した。

3) 支援指導関連事業

①技術・品質サポート制度の推進

- ・ 鉄骨製作工場の大員認定取得と技術・品質の向上を目的として、当協会の企画に基づき県組合が実施し、378工場の支援を行った。このうち未認定工場が39工場、内38工場が性能評価を申請し、新型コロナウイルス感染症の影響により審査延期となった8工場を除く30工場が申請グレード適合となった。
- ・ 「鉄骨製作工場性能評価 工場審査の手引き」に基づき、適宜、県組合のサポート事務をフォローアップした。
- ・ 「鉄骨製作工場の基準マニュアル集」（工作基準・検査基準・製作要領書作成基準・外注管理基準の各マニュアル）を適宜フォローアップした。

②高規格材鉄骨製作支援制度の運用

- ・ 今年度2工場が高規格材適格工場となり、1工場が適用範囲を追加した。これで制度開始からの累計が11工場となった。

4) 品質管理体制の推進

- ・ 鉄骨製作工場の信頼性維持・向上を目的として、大臣認定取得後3年目の構成員を対象に、工場審査時の品質管理体制が維持されていることの確認を行った。
- ・ ゼネコン等発注者が鉄骨製作工場を選定する際に必要となる情報として、工場規模や加工能力などを開示する仕組みを構築するための検討を開始した。

(4) 建築鉄骨（製品・超音波）検査技術者養成事業

（一社）鉄骨技術者教育センターが認定登録する「建築鉄骨製品検査技術者」及び「建築鉄骨超音波検査技術者」の資格取得を支援する講習会を鉄骨建設業協会と共同で開催した。なお、昨年度、新型コロナウイルス感染拡大による政府の緊急事態宣言発出に伴い、本養成事業の新規の開催を約半年延期したため、計画の一部が2021年度開催になった。

1) 新規（実技試験のための実技講習会；受講は任意）

※（ ）内数字は、2020年度計画（以下同様）

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
実 施 期 間	2021年1月～3月	2021年2月～3月
開 催 地	5会場（札幌、盛岡、 大阪、岡山、宇多津）	3会場（盛岡、川崎、名古屋）
	（未開催；川崎、名古屋、福岡）	（未開催；大阪、福岡）
受 講 者 数	352 (800) 名	114 (270) 名

2) 更新（実技試験のための更新講習会；受講は任意）

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
実 施 期 間	2020年9月～12月	2020年9月～11月
開 催 地	7会場（盛岡、川崎、金沢、 名古屋、大阪、岡山、福岡）	5会場（盛岡、川崎、 名古屋、大阪、福岡）
受 講 者 数	506 (680) 名	190 (290) 名

(5) 鉄骨技術者教育センターの事業支援

（一社）鉄骨技術者教育センターが認定登録する「鉄骨製作管理技術者」、「建築鉄骨製品検査技術者」及び「建築鉄骨超音波検査技術者」の資格取得に必要な試験、講習及び登録業務を事務請負するとともに、同センターが行う教育事業等を支援した。なお、2020年4月に、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が発出されたことに伴い、建築鉄骨（製品・超音波）検査技術者の新規試験が約半年延期されたため、計画していた試験の一部は2021年度実施になった。

1) 鉄骨製作管理技術者関連業務の事務請負

①試験

- ・資格取得希望者を対象とした学科試験。

※（ ）内数字は、2020年度計画（以下同様）

	1 級	2 級
試 験 日	2020年10月24日（土）	
実 施 地	9会場（札幌、仙台、東京、金沢、 名古屋、大阪、広島、宇多津、福岡）	
受 験 者 数	1,046 (1,260) 名	564 (690) 名
合 格 者 数	631名	411名
合 格 率	60.3%	72.9%

②更新講習

- ・2021年3月31日で資格取得後5年（更新1回目）及び10年（更新2回目）経過する者を対象とした更新講習会（1日講習）。
- ・新型コロナウイルス感染予防対策として、講習会場に出席する代わりに在宅学習を選択することも可能とした。

	1 級	2 級
実 施 期 間	2020年11月～12月	
実 施 地	9 会場（札幌、仙台、東京、金沢、 名古屋、大阪、広島、宇多津、福岡）	
対 象 者 数	更新 1 回目：893名 更新 2 回目：485名	更新 1 回目：602名 更新 2 回目：296名
受 講 者 数	更新 1 回目； 748（内 在宅学習163）名（703） 更新 2 回目； 389（内 在宅学習 85）名（409）	更新 1 回目； 319（内 在宅学習81）名（284） 更新 2 回目； 142（内 在宅学習44）名（174）
修 了 者 数	更新 1 回目：736名 更新 2 回目：389名	更新 1 回目：316名 更新 2 回目：142名

- ・資格取得後、1 回目の更新講習は、講義及び修了考査
- ・資格取得後、2 回目の更新講習は、講義及び論文

③更新書類審査

- ・2021年 3 月31日で資格取得後15年（更新 3 回目）以上を経過する者を対象とした更新書類審査

	1 級	2 級
実 施 期 間	2020年11月～12月	
対 象 者 数	321名	153名
合 格 者 数	275（内 在宅学習 4）名（246）	103（内 在宅学習 0）名（97）

- ・更新書類審査は、実務経歴書による書類審査を基本とするが、当該年度に開催される更新講習（午前中の講義のみ）を受講することにより更新書類審査を合格とすることができる。
- ・新型コロナウイルス感染予防対策として、講習会場に出席する代わりに在宅学習報告書を提出することも可能とした。

④認定登録

- ・試験及び更新書類審査の合格者並びに更新講習修了者に対する認定登録及び登録証の発行

	1 級	2 級
新 規	631名	408名
更 新	1,125名	458名
更新書類審査	275名	103名
合 計	2,031名	969名

- ・2021年 4 月 1 日時点の認定登録者総数

	1 級	2 級
登 録 者 数	18,869名	16,227名
有 効 者 数	12,764名	6,197名

2) 建築鉄骨（製品・超音波）検査技術者関連業務の事務請負

①新規

- ・新規の資格取得希望者を対象とした学科試験。

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
試 験 日	2020年12月5日（土）	※6月27日（土）を延期
実 施 地	8会場（札幌、仙台、東京、金沢、名古屋、大阪、宇多津、福岡）	6会場（仙台、東京、金沢、名古屋、大阪、福岡）
受 験 者 数	641（700）名	217（330）名
合 格 者 数	543	157
合 格 率	84.7%	72.4%

- ・学科試験合格者を対象とした実技試験。

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
実 施 期 間	2021年1月～3月	2021年2月～3月
実 施 地	5会場（札幌、盛岡、大阪、岡山、宇多津）	3会場（盛岡、川崎、名古屋）
	（未実施：川崎、名古屋、福岡）	（未実施：大阪、福岡）
受 験 者 数	356（830）名	119（300）名
合 格 者 数	実施中	実施中
合 格 率	実施中	実施中

②継続

- ・2021年3月31日で、資格取得又は更新後5年経過する者を対象とした継続講習会（2時間の講習またはレポートの審査）。

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
実 施 期 間	2021年1月～2月	
継 続 講 習 実 施 地	9会場（札幌、仙台、東京、金沢、名古屋、大阪、広島、宇多津、福岡）	
対 象 者 数	1,178名	563名
修 了 者 数	929（内レポート333）名（940）	481（内レポート157）名（450）

- ・新型コロナウイルス感染予防対策として、講習会場に出席する代わりにレポートの審査で修了することも可能とした。

③更新

- ・2021年3月31日で、資格継続後5年経過する者を対象とした更新試験（実技試験）。

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
実 施 期 間	2020年9月～12月	2020年9月～11月
実 施 地	7会場（盛岡、川崎、金沢、名古屋、大阪、岡山、福岡）	5会場（盛岡、川崎、名古屋、大阪、福岡）
対 象 者 数	941名	418名
受 験 者 数	510（830）名	208（450）名
合 格 者 数	491	196
合 格 率	96.3%	94.2%

④認定登録

- ・実技試験及び更新試験の合格者並びに継続講習修了者で、認定登録を受けた者に対する登録証（2021年4月1日付け）の発行。

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
新 規	実施中	実施中
継 続	929名	481名
更 新	491名	196名
合 計	1,420名	677名

- ・新型コロナウイルス感染による特別措置として、2021年3月31日で有効期限を満了する更新対象者のうち、今年度受験を見送った者に、有効期限を1年延長する措置が講じられ、証明書を発行した。

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
更 新	9,836名	3,902名

- ・2021年4月1日時点の認定登録者総数

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
登 録 者 数	18,845名	6,787名
有 効 者 数	9,505名	3,802名

- ・新規の認定登録は、実施中のため計上されていない。

3) 鉄骨製作・検査技術の向上に資する教育事業等

- ・技術者のスキルアップに資する教育活動
- ・技術者の確保とPR活動

(6) 鉄骨製作支援協議会（旧称；鉄骨製作管理技術者登録機構）の事業支援

- ・鉄骨製作に関する資格及び技術の向上等を図るために設置された検討WGへの参画
（「鉄骨製作関連技術資格に関する検討WG」「建築鉄骨技能士（仮称）に関する検討WG」「ミルシート表記改善検討WG」「高力ボルトのサイズ集約検討WG」）
- ・建築構造用鋼材便覧の頒布及び普及

II. 会員等の状況

1. 正会員の状況

別紙「正会員名簿」の通り。(事業年度内の異動はなし)

2. 構成員の異動状況

2020.03.31 登録社数	期 中 異 動							2021.03.31 登録社数
	新規登録社数	取 消 社 数 (取消事由別)						
		倒産	転廃業	縮小・閉鎖	休業	その他	計	
2,199	32	0	12	7	0	15	34	2,197

3. 賛助会員の状況

新規に1社〔小野建株式会社〕が加入し、期末の賛助会員数は35社・団体となった。
(別紙「賛助会員名簿」の通り)

III. 組織の状況

1. 組織・業務実施体制の改編

(1) 特別委員会の設置

中期課題に取り組むため、以下の3特別委員会を設置した。

○事業継続計画検討委員会

厳しい事業環境下での事業継続に関する課題について検討する。

○IoT等システム環境整備検討委員会

デジタル技術を活用した業務効率化を推進するための課題について検討する。

○品質管理委員会

適切な品質管理を実施するための課題について検討する。

(2) 各種ワーキンググループ (WG) の設置

特別委員会が抽出したより具体的な課題に取り組むため、6 WGを設置した。

①災害時のBCP策定WG

②事業継承対策WG

③日報デジタル化検討WG

④リモート製品検査検討WG

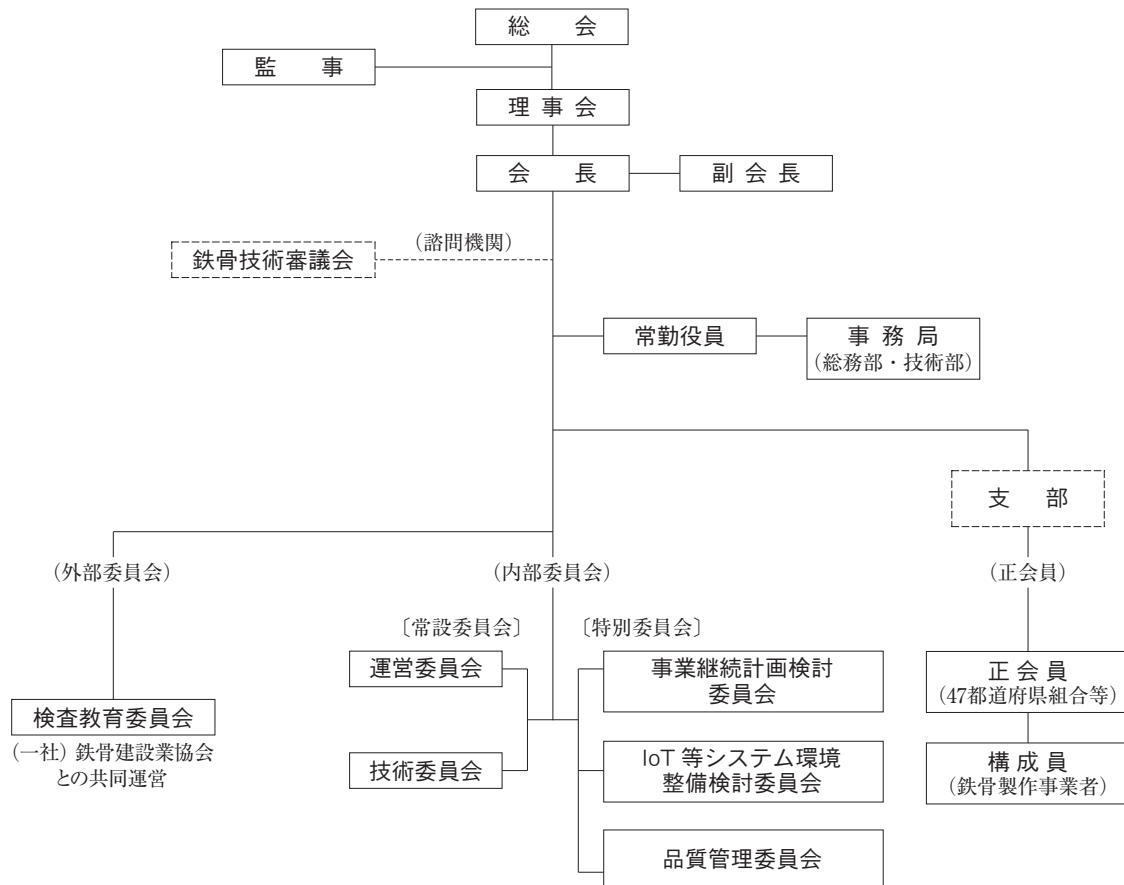
⑤ホームページ改造WG

⑥採用ポスター作成WG

2. 協会組織図

(一社)全国鐵構工業協会の組織

2021年3月31日現在



Ⅳ. 役員および職員の状況

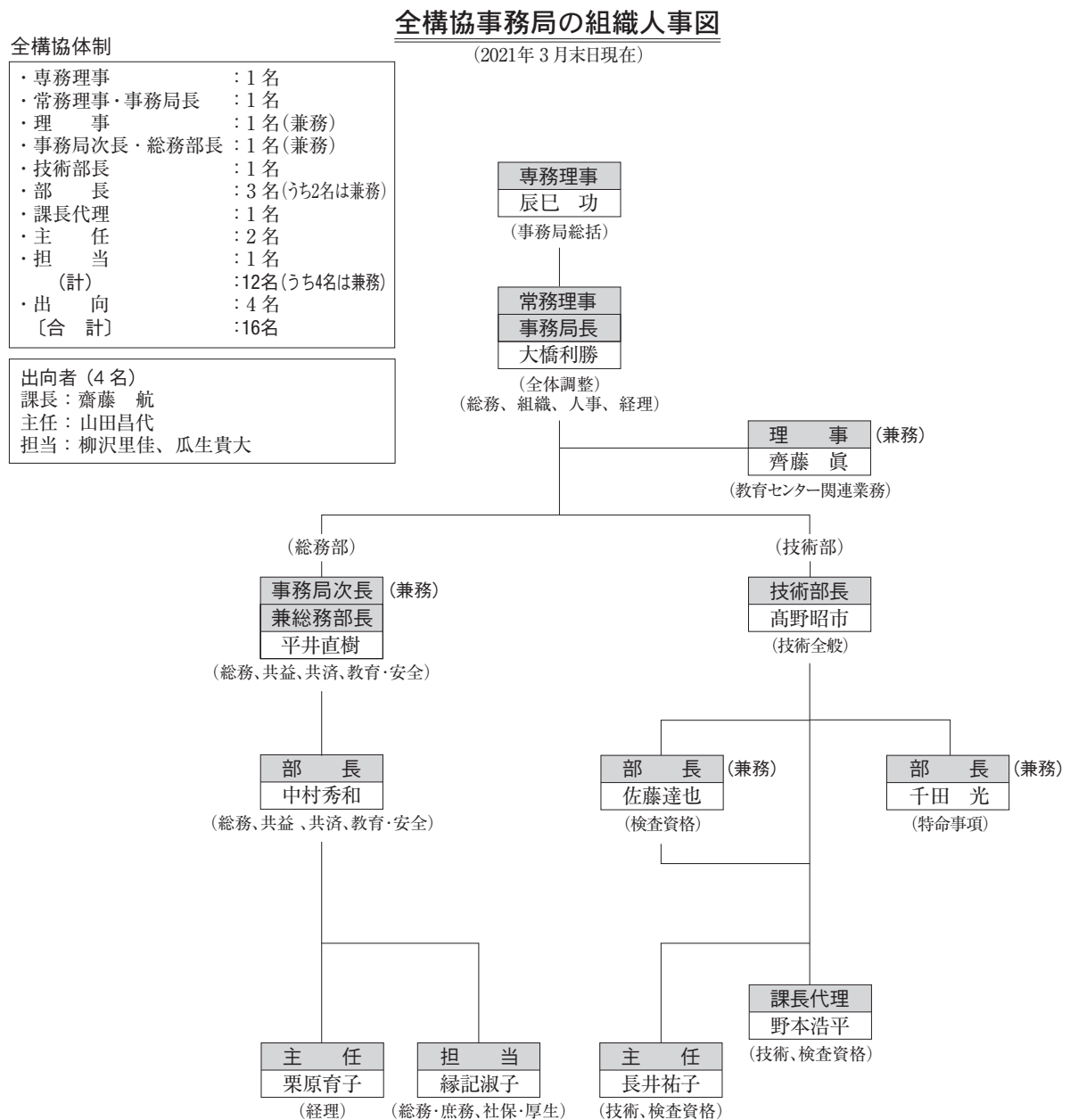
1. 役員の状況 (2021年3月末日時点の役員)

役員名簿

2021年3月末日時点

役職名	氏名	所属団体 役職名	備考
会長 (代表理事)	米 森 昭 夫	元 石川県鉄骨工業協同組合 理事	
副会長	永 井 毅	協同組合熊本県鉄構工業会 理事長	
〃	大 島 嗣 雄	愛知県鉄構工業協同組合 理事長	
〃	山 本 泰 徳	協同組合広島県鉄構工業会 理事長	
専務理事 (業務執行理事)	辰 巳 功	一般社団法人全国鐵構工業協会	
常務理事 (業務執行理事)	大 橋 利 勝	一般社団法人全国鐵構工業協会	事務局長
理 事	佐 藤 正 記	一般社団法人北海道機械工業会鉄骨部会 部会長	北海道支部長
〃	渡 辺 勝	福島県鉄構工業組合 理事長	東北支部長
〃	大 竹 良 明	群馬県鐵構業協同組合 理事長	関東支部長
〃	寺 田 健 信	石川県鉄骨工業協同組合 理事長	北陸支部長
〃	多和田桂太郎	岐阜県鐵構工業協同組合 理事長	中部支部長
〃	出 雲 津 芳	兵庫県鉄工建設業協同組合 理事長	近畿支部長
〃	福 田 秀 章	協同組合鳥取県鉄構工業会 理事長	中国支部長
〃	井 原 常 裕	徳島県鉄骨構造協同組合 理事長	四国支部長
〃	神 崎 隆 一	前 協同組合大分県鉄構工業会 理事長	九州支部長
〃	齊 藤 眞	一般社団法人全国鐵構工業協会	(一社)鉄骨技術者教育センター に関する事項管掌
監 事	村 上 眞 樹	シルベスター税理士法人 代表社員	
〃	野 田 博 文	前 工業組合福岡県鉄構工業会 理事長	
〃	高 橋 伸 和	前 協同組合島根県鐵構工業会 理事長	

2. 職員の状況 - 事務局組織図 - (2021年3月末日時点)



V. 会議開催状況

1. 総会

開催日及び議題	会議の結果
2020年6月17日〈水〉 1. 2019年度事業報告および決算承認の件 2. 2020年度事業計画（案）および収支予算（案）承認の件 3. 2020年度正会員会費額承認の件 4. 任期満了にともなう役員選任の件	全ての議案について原案通り可決承認された

2. 理事会

開催日及び議題	会議の結果
みなし決議（2020年6月1日〈月〉） 1. 2020年度 事業計画（変更案）承認の件 2. 2019年度 事業報告及び決算承認の件 3. 2020年度 正会員会費額承認の件 4. 第53回 通常総会招集及び議案確認の件	全ての議案について原案通り可決承認されたものとみなされた
みなし決議（2020年6月23日〈火〉） 1. 会長、副会長、専務理事及び常務理事の選定について 2. 顧問の推薦について	全ての議案について原案通り可決承認されたものとみなされた
第1回（2020年7月9日〈木〉） 1. 特別委員会設置の件 2. 鉄骨技術研究開発助成対象案件の実施計画の策定、予算編成等の作業実施承認の件 3. 賛助会員の新規入会承認の件 ※報告事項 6件	全ての議案について原案通り可決承認された
第2回（2020年9月29日〈火〉）〔Web会議併用〕 1. 技術研究開発助成対象案〈全構協実施型〉承認の件 ※報告事項 5件	議案については原案通り可決承認された
第3回（2020年11月19日〈木〉）〔Web会議併用〕 審議事項なし ※報告事項 5件	
第4回（2021年2月18日〈木〉）〔Web会議併用〕 1. 2021年度鉄骨技術研究開発助成対象案件承認の件 2. 2021年度事業計画（案）承認の件 ※報告事項 3件	全ての議案について原案通り可決承認された
第5回（2021年3月18日〈木〉）〔Web会議併用〕 1. 2021年度予算（案）承認の件 2. 2021年度永年勤続表彰対象者承認の件 ※報告事項 3件	全ての議案について原案通り可決承認された

Ⅵ. 委員会等開催状況

1. 運営委員会

開催日及び議題
第1回（2020年7月16日〈木〉） 1. 2020年度事業活動計画について 2. 継続実施事業について 3. 「働き方改革」の対応について 4. 教育・人材育成施策の実施について ※その他 報告事項等
第2回（2020年10月7日〈水〉）〔Web開催〕 1. 会員企業実績実態調査について 2. 原価管理の実施実態調査について ※その他 報告事項等
第3回（2020年11月12日〈木〉）〔Web開催〕 1. 原価管理の実施実態調査について ※その他 報告事項等
第4回（2021年1月21日〈木〉）〔Web開催〕 1. 会員企業業績実態調査について 2. 原価管理の施策の実施について ※その他 報告事項等
第5回（2021年3月12日〈金〉）〔Web会議併用〕 1. 2021年度事業計画について 2. 会員企業業績実態調査について ※その他 報告事項等

2. 技術委員会

開催日及び議題
第1回（2020年8月17日〈木〉）〔Web開催〕 1. 委員長及び委員挨拶 2. 副委員長選出 3. 2020年度「技術関連」事業計画について 4. 重点課題と進め方について ※その他
第2回（2021年1月27日〈水〉）〔Web開催〕 1. 溶接ヒューム規制強化について 2. コラム半自動溶接の溶接施工実験について ※その他
各ワーキンググループ（WG）の開催回数 ①安全衛生WG 4回〔Web開催〕 ②溶接施工WG 1回〔Web開催〕 ※その他、神戸大学委託実験打合せ 4回

3. 事業継続計画検討委員会

開催日
第1回 (2020年7月10日〈金〉)
第2回 (2020年9月30日〈水〉)〔Web開催〕
第3回 (2020年11月18日〈水〉)〔Web開催〕

4. IoT等システム環境整備検討委員会

開催日
第1回 (2020年7月10日〈金〉)
第2回 (2020年9月29日〈火〉)〔Web開催〕

5. 品質管理委員会

開催日
第1回 (2020年7月10日〈金〉)
第2回 (2020年9月30日〈水〉)〔Web開催〕
第3回 (2020年11月17日〈火〉)〔Web開催〕

6. 高規格鉄骨製作支援委員会

開催日
〔審査専門会〕
第1回 (2020年7月28日〈火〉)

7. 災害時のBCP策定WG

開催日
第1回 (2020年2月1日〈月〉)〔Web開催〕
第2回 (2020年3月15日〈月〉)〔Web開催〕

8. 事業継承対策WG

開 催 日
第1回（2020年12月25日〈金〉）〔Web開催〕

9. 日報デジタル化検討WG

開 催 日
第1回（2021年2月5日〈金〉）〔Web開催〕

10. リモート製品検査検討WG

開 催 日
第1回（2021年1月21日〈木〉）〔Web開催〕
第2回（2021年2月9日〈火〉）〔Web開催〕

11. ホームページ改造WG

開 催 日
第1回（2021年2月12日〈金〉）〔Web開催〕
第2回（2021年3月25日〈木〉）〔Web開催〕

12. 採用ポスター作成WG

開 催 日
第1回（2020年12月15日〈火〉）〔Web開催〕
第2回（2021年1月12日〈火〉）〔Web開催〕
第3回（2021年1月29日〈金〉）〔Web開催〕
第4回（2021年3月5日〈金〉）〔Web開催〕
第5回（2021年3月26日〈金〉）〔Web開催〕

13. 鉄骨技術アドバイザー会議

開催日
第1回（2021年2月2日〈火〉）〔Web開催〕
第2回（2021年2月22日〈月〉）〔Web開催〕

14. 鉄骨技術研究開発助成制度 選考委員会

開催日
第1回（2020年6月25日〈木〉）書面審議
第2回（2021年2月9日〈火〉）〔Web開催〕

15. 建築鉄骨検査技術者教育委員会

委員会名及び開催回数
建築鉄骨製品検査技術者 教育委員会 2回
建築鉄骨超音波検査技術者 教育委員会 2回

16. 鉄骨技術審議会

開催日及び議題
新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

以上

附 属 明 細 書

特に記載すべき重要な事項はありません。

一般社団法人全国鐵構工業協会 正会員名簿

2021年4月1日現在

地 区		団 体 名	代 表 者 氏 名
北 海 道	北 海 道	(一社)北海道機械工業会鉄骨部会	佐 藤 正 記
東 北	青 森	青森県鉄工連協同組合	三 浦 隆 宏
	岩 手	岩手県鉄構工業協同組合	佐 々 木 史 昭
	宮 城	宮城県鐵構工業協同組合	猪 股 勝 幸
	秋 田	秋田県鐵構工業協同組合	藤 澤 正 義
	山 形	山形県鉄構工業組合	村 山 功
	福 島	福島県鉄構工業組合	渡 辺 勝
関 東	茨 城	茨城県鐵構工業協同組合	安 達 次 雄
	栃 木	(一社)栃木県鉄構工業会	五 月 女 久 和
	群 馬	群馬県鐵構業協同組合	大 竹 良 明
	埼 玉	埼玉県鉄構業協同組合	新 井 公 雄
	千 葉	協同組合千葉県鐵骨工業会	栗 原 宏
	東 京	東京鉄構工業協同組合	吉 岡 晋 吾
	神 奈 川	神奈川県鉄構業協同組合	石 井 三 夫
	新 潟	新潟県鉄骨工業組合	秋 山 順 一
	山 梨	(一社)山梨県鉄構溶接協会	仲 山 仁 博
	長 野	長野県鐵構事業協同組合	飯 島 正
北 陸	富 山	富山県鉄構工業協同組合	西 村 仁
	石 川	石川県鉄骨工業協同組合	寺 田 健 信
	福 井	福井県建設鉄工協同組合	田 崎 説 男
中 部	岐 阜	岐阜県鐵構工業協同組合	多 和 田 桂 太 郎
	静 岡	静岡県鐵構工業協同組合	渡 邊 靖 之
	愛 知	愛知県鉄構工業協同組合	大 島 嗣 雄
	三 重	三重県鐵構工業協同組合	大 木 信 介
近 畿	滋 賀	滋賀県鐵構工業組合	木 村 昌 浩
	京 都	京都府鉄構工業協同組合	柳 原 昭 弘
	大 阪	大阪府鉄構建設業協同組合	佐 野 勝 也
	兵 庫	兵庫県鉄工建設業協同組合	出 雲 津 芳
	奈 良	奈良県鉄構建設業協同組合	内 藤 源 美
	和 歌 山	和歌山県鉄構工業協同組合連合会	北 村 忠 治
中 国	鳥 取	協同組合鳥取県鉄構工業会	福 田 秀 章
	島 根	協同組合島根県鐵構工業会	藤 井 実
	岡 山	協同組合岡山県鉄構工業会	守 谷 悟
	広 島	協同組合広島県鉄構工業会	山 本 泰 徳
	山 口	山口県鉄構工業組合	益 田 和 男
四 国	徳 島	徳島県鉄骨構造協同組合	井 原 常 裕
	香 川	香川県鋼構造協同組合	岡 崎 巧
	愛 媛	協同組合愛媛県鐵構工業会	登 尾 昌 弘
	高 知	高知県鉄骨構造協同組合	伊 藤 進 矢
九 州	福 岡	工業組合福岡県鉄構工業会	鶴 田 陽 一
	佐 賀	協同組合佐賀県鉄構工業会	石 丸 早 苗
	長 崎	協同組合長崎県鉄構工業会	岩 永 洋 尚
	熊 本	協同組合熊本県鉄構工業会	永 井 毅 夫
	大 分	協同組合大分県鉄構工業会	清 松 芳 利
	宮 崎	協同組合宮崎県鉄構工業会	鴨 林 昌 利
	鹿 児 島	協同組合鹿児島県鉄構工業会	濱 崎 巖 哉
	沖 縄	協同組合沖縄県鉄構工業会	大 城 克

(別添資料3)

賛助会員名簿

2021年4月1日現在 (50音順)

会社名・団体名	代表者・役職・氏名	所在地・電話番号
株式会社アマダマシンナリー	代表取締役社長 田 所 雅 彦	神奈川県伊勢原市石田200 〒 259-1196 0463-96-3351
伊藤忠丸紅住商テクノスチール株式会社	代表取締役 田 中 康 博	東京都千代田区大手町1-6-1 (大手町ビル) 〒 100-0004 03-6266-8221
岩上鋼材株式会社	代表取締役社長 岩 上 茂	東京都江東区亀戸6-43-9 〒 136-0071 03-3681-2265
エムエム建材株式会社	代表取締役社長 宮 澤 正 明	東京都港区東新橋1-5-2 (汐留シティセンター) 〒 105-7117 03-6891-1777
王子製鉄株式会社	代表取締役社長 田 邊 孝 治	東京都中央区日本橋3-2-5 (毎日日本橋ビル8F) 〒 103-0021 03-5201-7711
小野建株式会社	代表取締役社長 小 野 建	福岡県北九州市小倉北区西港町12-1 〒 803-8558 093-561-0036
株式会社神戸製鋼所	代表取締役社長 山 口 貢	東京都品川区北品川5-9-12 〒 141-8688 03-5739-6000
JFE建材株式会社	代表取締役社長 久 保 亮 二	東京都港区港南1-2-70 (品川シーズンテラス11F) 〒 108-0075 03-5715-6700
JFE商事鉄鋼建材株式会社	代表取締役 飯 野 聡	東京都千代田区大手町2-7-1 (JFE商事ビル) 〒 100-0004 03-5203-6080
JFEスチール株式会社	代表取締役社長 北 野 嘉 久	東京都千代田区内幸町2-2-3 〒 100-0011 03-3597-3111
神鋼ボルト株式会社	代表取締役社長 坂 田 宏 之	千葉県市川市二俣新町17 〒 272-0002 047-328-6521
新東工業株式会社	代表取締役社長 永 井 淳	愛知県名古屋市中村区名駅3-28-12 (大名古屋ビル24F) 〒 450-6424 052-582-9211

(別添資料3)

賛助会員名簿

2021年4月1日現在 (50音順)

会社名・団体名	代表者・役職・氏名	所在地・電話番号
株式会社スノウチ	代表取締役 馬場 誠一郎	千葉県浦安市港46 〒279-0024 047-353-8751
住友生命保険相互会社	代表執行役社長 高田 幸徳	東京都中央区築地7-18-24 〒104-8430 03-5550-1100
株式会社セイケイ	代表取締役社長 得田 儀生	栃木県佐野市栄町3-2 〒327-0816 0283-22-4425
第一生命保険株式会社	代表取締役社長 稲垣 精二	東京都千代田区有楽町1-13-1 〒100-8411 03-3216-1211
大東精機株式会社	代表取締役社長 杉本 真一	兵庫県尼崎市東初島町2-26 〒660-0832 06-6489-1201
大同生命保険株式会社	代表取締役社長 北原 睦朗	東京都中央区日本橋2-7-1 〒103-6031 03-3272-6777
ダイニツカ株式会社	代表取締役社長 横地 将男	東京都中央区八丁堀1-9-5 〒104-0032 03-3552-3151
大日本塗料株式会社	代表取締役社長 里 隆幸	大阪府大阪市中央区南船場1-18-11 (SRビル長堀) 〒542-0081 06-6266-3100
一般社団法人鉄骨建設業協会	会長 田中 進	東京都千代田区岩本町1-3-3 (プロスパービル2F) 〒101-0032 03-5829-6124
株式会社トーネジ	代表取締役 岡部 純	茨城県つくば市みどりの中央85-2 〒305-0882 029-846-6101
日鉄エンジニアリング株式会社	代表取締役社長 石俣 行人	東京都品川区大崎1-5-1 (大崎センタービル) 〒141-8604 03-6665-2000
日鉄建材株式会社	代表取締役社長 中川 智章	東京都千代田区外神田4-14-1 (秋葉原UDX13F) 〒101-0021 03-6625-6000

(別添資料3)

賛助会員名簿

2021年4月1日現在 (50音順)

会社名・団体名	代表者・役職・氏名	所在地・電話番号
日鉄物産株式会社	代表取締役社長 佐伯 康光	東京都港区赤坂8-5-27 〒107-8527 03-5412-5214
日鉄ボルテン株式会社	代表取締役社長 吉村 康嗣	大阪府大阪市住之江区緑木1-4-16 〒559-0022 06-6682-3261
一般社団法人日本鋼構造協会	会長 藤野 陽三	東京都中央区日本橋3-15-8 (アミノ酸会館ビル3F) 〒103-0027 03-3516-2151
日本製鉄株式会社	代表取締役社長 橋本 英二	東京都千代田区丸の内2-6-1 (丸の内パークビルディング) 〒100-8071 03-6867-4111
日本ファスナー工業株式会社	代表取締役 村上 浩隆	大阪府大阪市鶴見区今津北4-7-18 〒538-0041 06-6968-1800
一般財団法人日本溶接技術センター	理事長 黒川 剛志	神奈川県川崎市川崎区本町2-11-19 〒210-0001 044-222-4102
一般社団法人日本溶接協会	会長 栗飯原 周二	東京都千代田区神田佐久間町4-20 (溶接会館) 〒101-0025 03-5823-6322
一般社団法人日本溶融亜鉛鍍金協会	理事長 菊川 美仁	東京都港区赤坂2-21-3 (レドンドビル3F) 〒107-0052 03-5545-1875
阪和興業株式会社	代表取締役社長 古川 弘成	東京都中央区築地1-13-1 〒104-8429 03-3544-2404
フルサト工業株式会社	取締役社長 古里 龍平	大阪府大阪市中央区南新町1-2-10 〒540-0024 06-6946-9600
株式会社丸杉	代表取締役社長 杉山 忠国	岐阜県岐阜市金町8-1 (フロンティア丸杉ビル) 〒500-8748 058-267-0111

2020(令和2)年度 決算報告(案)

〔自 2020年 4月 1日〕
〔至 2021年 3月 31日〕

理 事 会 用

2021年 5月 20日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

貸 借 対 照 表

2021年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度(2020.3月末)	増減
I.資産の部			
1. 流動資産			
現 金	455,260	257,785	197,475
普 通 預 金	436,801,187	367,970,747	68,830,440
郵 便 預 金	15,487,890	0	15,487,890
仮 払 金	781,000	0	781,000
前 払 費 用	815,565	1,426,347	△ 610,782
貯 蔵 品	591,108	753,880	△ 162,772
〔流動資産合計〕	454,932,010	370,408,759	84,523,251
2. 固定資産			
(1)特定資産			
退 職 給 与 引 当 資 産	97,740,065	91,605,065	6,135,000
検 査 機 構 準 備 資 産	358,000,000	358,000,000	0
(特定資産合計)	455,740,065	449,605,065	6,135,000
(2)その他の固定資産			
建 物 付 属 設 備	9,645,924	10,387,421	△ 741,497
器 具 及 び 備 品	1,239,735	1,481,775	△ 242,040
ソ フ ト ウ ェ ア	17,932,686	25,514,862	△ 7,582,176
電 話 加 入 権	1,294,964	1,294,964	0
敷 金 ・ 保 証 金	24,575,459	24,575,459	0
投 資 有 価 証 券	2,900,000	2,900,000	0
(その他固定資産合計)	57,588,768	66,154,481	△ 8,565,713
〔固定資産合計〕	513,328,833	515,759,546	△ 2,430,713
資産合計	968,260,843	886,168,305	82,092,538
II.負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	916,750	0	916,750
前 受 金	15,488,000	0	15,488,000
預 り 金	1,066,254	602,266	463,988
〔流動負債合計〕	17,471,004	602,266	16,868,738
2. 固定負債			
退職給与引当金	97,740,065	91,605,065	6,135,000
〔固定負債合計〕	97,740,065	91,605,065	6,135,000
負債合計	115,211,069	92,207,331	23,003,738
III.正味財産の部			
1. 一般正味財産	853,049,774	793,960,974	59,088,800
(うち特定資産への充当額)	(358,000,000)	(358,000,000)	(0)
正味財産合計	853,049,774	793,960,974	59,088,800
負債及び正味財産合計	968,260,843	886,168,305	82,092,538

2020年度 正味財産増減計算書(予算対比)

(単位:円)

科 目	決算額	予算額	差 異	備 考
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
【受取会費】	[227,303,900]	[222,397,000]	[4,906,900]	
正会員受取会費	217,301,400	213,000,000	4,301,400	
賛助会員受取会費	6,802,500	6,397,000	405,500	
構成員受取会費	3,200,000	3,000,000	200,000	
【事業収益費】	[127,533,092]	[165,552,000]	[△ 38,018,908]	
検査員養成事業収益	30,762,300	67,782,000	△ 37,019,700	
共済事業収益	14,503,792	15,470,000	△ 966,208	
事務請負事業収益	82,267,000	82,300,000	△ 33,000	
【雑収益】	[2,916,760]	[5,400,000]	[△ 2,483,240]	
雑収益	2,771,760	5,300,000	△ 2,528,240	
受取配当金	145,000	100,000	45,000	
経常収益計	357,753,752	393,349,000	△ 35,595,248	
(2) 経常費用				
【事業費・管理費】	[298,594,944]	[393,143,000]	[△ 94,548,056]	
1 給料手当	70,177,705	82,619,000	△ 12,441,295	
2 退職給付費用	6,910,000	8,058,000	△ 1,148,000	
3 臨時雇賃金	5,409,563	5,046,000	363,563	
4 法定福利費	16,938,478	19,294,000	△ 2,355,522	
5 福利厚生費	2,382,871	2,943,000	△ 560,129	
6 総会・理事会費	2,370,555	12,031,000	△ 9,660,445	
7 支部会議費	4,430,000	7,930,000	△ 3,500,000	
8 会議費	5,289,276	10,113,000	△ 4,823,724	
9 旅費交通費	14,827,980	37,974,000	△ 23,146,020	
10 通信運搬費	14,604,130	13,239,000	1,365,130	
11 什器備品費	2,511,006	200,000	2,311,006	
12 消耗品費	3,431,017	1,754,000	1,677,017	
13 修繕費	0	200,000	△ 200,000	
14 印刷製本費	19,242,329	23,877,000	△ 4,634,671	
15 水道光熱費	670,728	700,000	△ 29,272	
16 賃借料	49,247,240	49,720,000	△ 472,760	
17 保険料	585,647	1,279,000	△ 693,353	
18 諸謝金	7,067,533	11,825,000	△ 4,757,467	
19 租税公課	5,031,709	9,150,000	△ 4,118,291	
20 負担金	18,232,978	28,772,000	△ 10,539,022	
21 交際費	652,806	6,812,000	△ 6,159,194	
22 慶弔費	60,000	500,000	△ 440,000	
23 新聞図書費	907,865	952,000	△ 44,135	
24 支払手数料	2,639,394	2,150,000	489,394	
25 顧問料	3,313,200	3,320,000	△ 6,800	
26 寄付金	5,550,000	1,000,000	4,550,000	
27 広告宣伝費	11,280,068	12,700,000	△ 1,419,932	
28 事務委託費	13,677,920	22,961,000	△ 9,283,080	
29 調査研究費	11,220	230,000	△ 218,780	
30 検査器材費	291,500	1,800,000	△ 1,508,500	
31 雑費	1,881,261	3,934,000	△ 2,052,739	
32 災害義援金	0	0	0	
33 減価償却費(建物付属設備)	741,497	740,000	1,497	
34 減価償却費(器具及び備品)	645,292	1,738,000	△ 1,092,708	
35 減価償却費(ソフトウェア)	7,582,176	7,582,000	176	
経常費用計	298,594,944	393,143,000	△ 94,548,056	
当期経常増減額	59,158,808	206,000	58,952,808	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	8	0	8	
経常外費用計	8	0	8	
当期経常外増減額	△ 8	0	△ 8	
税引き前当期一般正味財産増減額	59,158,800	206,000	58,952,800	
【法人・住民・事業税等】	70,000	500,000	△ 430,000	
法人税・住民税・事業税	70,000	500,000	△ 430,000	
当期一般正味財産増減額	59,088,800	△ 294,000	59,382,800	
一般正味財産期首残高	793,960,974	793,960,974	0	
一般正味財産期末残高	853,049,774	793,666,974	59,382,800	
正味財産期末残高	853,049,774	793,666,974	59,382,800	

2020年度 正味財産増減計算書(前年度対比) 1/2

(単位:円)

科 目	当年度	前年度(2020.3月末)	増 減	備 考
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
【受取会費】	[227,303,900]	[223,350,000]	[3,953,900]	
正会員受取会費	217,301,400	214,353,000	2,948,400	
賛助会員受取会費	6,802,500	6,397,000	405,500	
構成員受取会費	3,200,000	2,600,000	600,000	
【事業収益費】	[127,533,092]	[153,710,816]	[△ 26,177,724]	
検査員養成事業収益	30,762,300	52,218,000	△ 21,455,700	
共済事業収益	14,503,792	16,338,816	△ 1,835,024	
事務請負事業収益	82,267,000	85,154,000	△ 2,887,000	
【雑収益】	[2,916,760]	[4,567,795]	[△ 1,651,035]	
雑収益	2,771,760	4,435,295	△ 1,663,535	
受取配当金	145,000	132,500	12,500	
経常収益計	357,753,752	381,628,611	△ 23,874,859	
(2) 経常費用				
【事業費】	[236,738,524]	[274,781,817]	[△ 38,043,293]	
給料手当	62,672,817	64,038,318	△ 1,365,501	
臨時雇賃金	5,409,563	6,165,710	△ 756,147	
法定福利費	10,956,545	10,607,346	349,199	
福利厚生費	1,457,922	2,173,514	△ 715,592	
会議費	1,577,355	3,094,136	△ 1,516,781	
旅費交通費	10,955,297	26,507,348	△ 15,552,051	
通信運搬費	14,035,228	13,836,901	198,327	
什器備品費	1,940,470	1,278,978	661,492	
消耗品費	3,093,822	1,632,292	1,461,530	
修繕費	0	2,465,380	△ 2,465,380	
印刷製本費	19,061,389	27,118,698	△ 8,057,309	
水道光熱費	516,461	460,898	55,563	
賃借料	44,080,083	42,470,952	1,609,131	
保険料	439,101	699,560	△ 260,459	
諸謝金	7,067,533	11,344,006	△ 4,276,473	
租税公課	3,725,310	6,712,513	△ 2,987,203	
負担金	16,845,878	9,950,537	6,895,341	
交際費	585,894	4,070,381	△ 3,484,487	
支払手数料	2,038,938	2,101,372	△ 62,434	
顧問料	2,456,300	2,036,034	420,266	
広告宣伝費	0	12,960	△ 12,960	
寄付金	5,550,000	0	5,550,000	
事務委託費	13,675,633	22,735,262	△ 9,059,629	
調査研究費	11,220	764,855	△ 753,635	
検査器材費	291,500	4,283,160	△ 3,991,660	
雑費	168,683	268,316	△ 99,633	
減価償却費(建物付属設備)	556,123	509,780	46,343	
減価償却費(器具及び備品)	398,979	602,130	△ 203,151	
減価償却費(ソフトウェア)	7,170,480	6,840,480	330,000	
【管理費】	[61,856,420]	[93,909,583]	[△ 32,053,163]	
給料手当	7,504,888	8,383,653	△ 878,765	
退職給付費用	6,910,000	8,564,095	△ 1,654,095	
臨時雇賃金	0	274,256	△ 274,256	
法定福利費	5,981,933	5,366,512	615,421	
福利厚生費	924,949	471,157	453,792	
総会・理事会費	2,370,555	10,651,132	△ 8,280,577	
支部会議費	4,430,000	7,920,636	△ 3,490,636	
会議費	3,711,921	6,854,239	△ 3,142,318	
旅費交通費	3,872,683	8,129,627	△ 4,256,944	
通信運搬費	568,902	416,133	152,769	
什器備品費	570,536	326,092	244,444	
消耗品費	337,195	394,573	△ 57,378	
修繕費	0	958,760	△ 958,760	

2020年度 正味財産増減計算書(前年度対比) 2/2

(単位:円)

科 目	当年度	前年度(2020.3月末)	増 減	備 考
印刷製本費	180,940	436,702	△ 255,762	
水道光熱費	154,267	137,672	16,595	
賃借料	5,167,157	5,382,647	△ 215,490	
保険料	146,546	279,714	△ 133,168	
租税公課	1,306,399	2,435,943	△ 1,129,544	
負担金	1,387,100	1,260,270	126,830	
交際費	66,912	421,712	△ 354,800	
慶弔費	60,000	129,500	△ 69,500	
新聞図書費	907,865	860,489	47,376	
支払手数料	600,456	600,577	△ 121	
顧問料	856,900	730,246	126,654	
広告宣伝費	11,280,068	11,943,120	△ 663,052	
事務委託費	2,287	△ 99,276	101,563	
雑費	1,712,578	3,909,190	△ 2,196,612	
災害義援金	0	6,000,000	△ 6,000,000	
減価償却費(建物付属設備)	185,374	169,926	15,448	
減価償却費(器具及び備品)	246,313	188,590	57,723	
減価償却費(ソフトウェア)	411,696	411,696	0	
経常費用計	298,594,944	368,691,400	△ 70,096,456	
当期経常増減額	59,158,808	12,937,211	46,221,597	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	8	248,121	△ 248,113	
経常外費用計	8	248,121	△ 248,113	
当期経常外増減額	△ 8	△ 248,121	248,113	
税引き前当期一般正味財産増減額	59,158,800	12,689,090	46,469,710	
【法人・住民・事業税等】	70,000	480,800	△ 410,800	
法人税・住民税・事業税	70,000	480,800	△ 410,800	
当期一般正味財産増減額	59,088,800	12,208,290	46,880,510	
一般正味財産期首残高	793,960,974	781,752,684	12,208,290	
一般正味財産期末残高	853,049,774	793,960,974	59,088,800	
正味財産期末残高	853,049,774	793,960,974	59,088,800	

2020年度 正味財産増減計算書内訳表

科 目	法人会計	事 業 会 計										全事業合計
		実 施 事 業 会 計					そ の 他 の 会 計					
		技術普及開発事業	検査員養成事業	小計	会員共益事業	共済事業	事務請負 教育センター	事務請負 支援協議会	事務請負 評価機構	事務請負事業	小計	
I. 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
【受取会費】												
正会員受取会費	227,303,900	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	227,303,900
賛助会員受取会費	217,301,400	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	217,301,400
構成員受取会費	6,802,500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,802,500
【事業収益】	3,200,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,200,000
検査員養成事業収益	0	0	30,762,300	30,762,300	0	14,503,792	78,200,000	2,600,000	1,467,000	82,267,000	96,770,792	127,533,092
共済事業収益	0	0	30,762,300	30,762,300	0	0	0	0	0	0	0	30,762,300
事務請負事業収益	0	0	0	0	0	0	78,200,000	2,600,000	1,467,000	82,267,000	82,267,000	14,503,792
【雑収益】	573,650	977,376	34,534	1,011,910	1,331,200	0	0	0	0	0	1,331,200	2,916,760
雑収益	428,650	977,376	34,534	1,011,910	1,331,200	0	0	0	0	0	1,331,200	2,771,760
受取配当金	145,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	145,000
経常収益計	227,877,550	977,376	30,796,834	31,774,210	1,331,200	14,503,792	78,200,000	2,600,000	1,467,000	82,267,000	98,101,992	357,753,752
(2) 経常費用												
【事業費】・【管理費】												
1 給料手当	61,856,420	51,441,153	61,665,109	113,106,262	39,090,044	14,253,769	67,462,764	1,358,685	1,467,000	70,288,449	123,632,262	298,594,944
2 退職給付費用	7,504,888	14,397,256	10,500,891	24,898,147	13,494,536	5,024,765	17,331,096	779,273	1,145,000	19,255,369	37,774,670	70,177,705
3 臨時雇賃金	0	0	1,991,077	1,991,077	0	0	0	0	0	0	0	6,910,000
4 法定福利費	5,981,933	2,492,471	1,661,648	4,154,119	2,492,471	996,989	2,824,801	166,165	322,000	3,312,966	6,802,426	16,938,478
5 福利厚生費	924,949	219,782	156,987	376,769	654,083	78,493	348,577	0	0	348,577	1,081,153	2,382,871
6 総会・理事会費	2,370,555	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,370,555
7 支部会議費	4,430,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,430,000
8 会議費	3,711,921	9,504	721,799	731,303	55,224	0	790,828	0	0	790,828	846,052	5,289,276
9 旅費交通費	3,872,683	800,062	6,302,475	7,102,537	622,301	138,209	3,092,250	0	0	3,092,250	3,852,760	14,827,980
10 通信運搬費	588,902	220,292	5,896,481	6,116,773	1,130,223	163,491	6,615,126	9,615	0	6,624,741	7,918,455	14,604,130
11 什器備品費	570,536	387,767	387,767	775,534	487,982	195,193	457,363	24,398	0	481,761	1,164,936	2,511,006
12 消耗品費	337,195	219,908	1,129,413	1,349,321	293,212	121,900	1,314,729	14,660	0	1,329,389	1,744,501	3,431,017
13 修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14 印刷製本費	180,940	46,823	4,222,512	4,269,335	6,959,038	20,367	7,810,652	1,997	0	7,812,649	14,792,054	19,242,329
15 水道光熱費	154,267	100,609	100,609	201,218	134,146	53,659	120,731	6,707	0	127,438	315,243	670,728
16 賃借料	5,167,157	3,344,374	15,103,265	18,447,639	4,492,639	1,781,907	19,135,160	222,738	0	19,357,898	25,632,444	49,247,240
17 保険料	146,546	11,312	243,036	254,348	7,991	0	176,762	0	0	176,762	184,753	585,647
18 諸謝金	0	75,007	6,982,525	7,057,532	10,001	0	0	0	0	0	10,001	7,067,533
19 租税公課	1,306,399	1,017,955	884,391	1,902,346	716,722	151,774	942,205	12,263	0	954,468	1,822,964	5,031,709
20 負担金	1,387,100	9,628,000	13,500	9,641,500	2,293,288	4,897,590	13,500	0	0	13,500	7,204,378	18,232,978
21 交際費	66,912	30,802	467,065	497,867	0	0	88,027	0	0	88,027	88,027	652,806

[illegible]

2020年度 財務諸表に対する注記

1.継続組織の前提に関する注記

該当なし

2.重要な会計方針

(1)有価証券の評価基準及び評価法

満期保有有価証券・・・償却原価法(定額法)によっている。

その他の有価証券・・・移動平均法による原価法によっている。

なお、市場性のある有価証券は時価により評価する基準を採用している。

(2)棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっている。

(3)固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・建物及び建物附属設備は定額法、器具及び備品は定率法

無形固定資産・・・定額法

(4)引当金の計上基準

退職給与引当金・・・期末退職給与の会社都合要支給額の相当額を計上している。

(5)リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移動すると認められるもの以外のファイナンスリース

取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(6)キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

該当なし

(7)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

3.会計方針の変更

変更なし

4.基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産				
退職給与引当資産	91,605,065	6,135,000	0	97,740,065
検査機構準備資産	358,000,000	0	0	358,000,000
小 計	449,605,065	6,135,000	0	455,740,065
合 計	449,605,065	6,135,000	0	455,740,065

5.基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産				
退職給与引当資産	97,740,065	0	0	97,740,065
検査機構準備資産	358,000,000	0	358,000,000	0
小 計	455,740,065	0	358,000,000	97,740,065
合 計	455,740,065	0	358,000,000	97,740,065

6.担保にしている資産

該当なし

7.固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	11,067,127	1,421,203	9,645,924
器具及び備品	14,279,709	13,039,974	1,239,735
ソフトウェア	37,910,880	19,978,194	17,932,686
合 計	63,257,716	34,439,371	28,818,345

8.債務の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし

9.保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く)等の偶発債務

該当なし

10.満期保有目的の債権の内訳及び帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11.補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし

12.基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当なし

13.指定正味財産から一般正味財産への振替の内訳

該当なし

14.関連当事者との取引の内容

該当なし

15.キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

該当なし

2020年度 附属明細書

1.基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	退 給 与 引 当 資 産	91,605,065	6,135,000	0	97,740,065
	検 査 機 構 準 備 資 産	358,000,000	0	0	358,000,000
	特定資産計	449,605,065	6,135,000	0	455,740,065

2.引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退 職 給 与 引 当 金	91,605,065	6,135,000	0	0	97,740,065
合 計	91,605,065	6,135,000	0	0	97,740,065

財産目録

2021年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I.資産の部			
1.流動資産			
現金預金			
現金	455,260		
普通預金 みずほ銀行	819,020		
普通預金 三菱UFJ銀行	435,982,167		
郵便預金 中央八丁堀郵便局	15,487,890		
仮払金	781,000		
前払費用	815,565		
貯蔵品	591,108		
流動資産合計		454,932,010	
2.固定資産			
(1)特定資産			
退職給与引当資産	97,740,065		
検査機構準備資産	358,000,000		
特定資産合計	455,740,065		
(2)その他の固定資産			
建物附属設備	9,645,924		
器具及び備品	1,239,735		
ソフトウェア	17,932,686		
電話加入権	1,294,964		
敷金・保証金	24,575,459		
投資有価証券	2,900,000		
その他の固定資産合計	57,588,768		
固定資産合計		513,328,833	
資産合計			968,260,843
II.負債の部			
1.流動負債			
未払金	916,750		
前受金	15,488,000		
預り金	1,066,254		
流動負債合計		17,471,004	
2.固定負債			
退職給与引当金	97,740,065		
固定負債合計		97,740,065	
負債合計			115,211,069
正味財産			853,049,774

2020年度決算 — 対2020年度予算差異説明

<単位:千円>

		2020年度 予算(A) 決算(B)			
		予算	決算	対 予 算 差 異	
		A	B	B-A	差異内訳
経常収益	会費				
	正会員会費	213,000	217,300	4,300	・グレード構成上位へ変化(Mグレード以上比率 : 49%→50%)
	賛助会員会費	6,400	6,800	400	・新規入会企業分(入会金+年会費)
	構成員登録料	3,000	3,200	200	・新規登録社数(30社→32社)
	事業収入				
	検査技術者事業収入	67,800	30,760	▲ 37,040	・コロナの影響による受講者減(490名)及び2021年度延期分が未計上(500名)
	共済事業収入	15,400	14,500	▲ 900	・団体生命保険事故率上昇による給付金増加(配当金減少)
他	事務請負事業収入	82,300	82,270	▲ 30	
	雑収入	5,400	2,920	▲ 2,480	・高規格材申請数減(6社→2社)
経常収益計		393,300	357,750	▲ 35,550	
経常費用	法人管理	67,000	37,040	▲ 29,960	・賀詞交換会、全国事務局長会議等 中止 (▲3,000) ・総会、理事会、特別委員会等 規模縮小、Web実施 (▲7,000) ・支部会、陳情、その他打合せ 取り止め、規模縮小 (▲15,000) ・その他会議費、雑費等 取り止め、未実施 (▲5,000)
	技術開発普及事業	50,900	27,590	▲ 23,310	
		7,900	9,000	1,100	・サポート制度 サポート工場数増(350→470工場)
		3,500	1,300	▲ 2,200	・助成金額減少
		0	5,550	5,550	・研究開発助成金 神戸大学への実験委託費を一括払い
		3,000	1,200	▲ 1,800	・NDI対策 受講者の減(160→88名)
		3,000	200	▲ 2,800	・4支部の開催支援
		20,000	9,630	▲ 10,370	・コロナの影響による構成員の受講者減(178名)及び2021年度延期分が未計上(319名)
		2,500	0	▲ 2,500	・安全衛生関連講習補助 支援内容を変更して2021年度に計画
		3,000	340	▲ 2,660	・4WG派遣、就労支援活動等 Web会議併用実施
		8,000	370	▲ 7,630	・技術委員会、WG活動 他Web会議を併用実施
	検査技術者養成事業	52,800	47,580	▲ 5,220	2021年度延期分が未計上(ただし、定員減などコロナ対応による経費が増)
	会員共益事業	30,100	14,840	▲ 15,260	
		3,300	0	▲ 3,300	・青年部との意見交換会、賛助会員との懇談会 未実施
		4,700	2,300	▲ 2,400	・コロナ影響で、青年部の助成(対象)事業大幅減 (47県→24県)
		4,500	1,000	▲ 3,500	・運営委員会 Web会議併用実施(出張費減)
		11,000	9,500	▲ 1,500	・会報発刊数減(2月号未発刊)
		2,000	0	▲ 2,000	・HP改造対応 未実施
		4,600	2,040	▲ 2,560	・高規格材対応等、会員共益関連事業減少
	共済事業	4,000	4,990	990	・支部推進会議等、各種打ち合わせ減 (▲3,500) ・販売奨励負担金実施 (+4,500)
	事務請負事業	42,200	39,140	▲ 3,060	・コロナ影響による事業規模縮小、延期
	技術者教育C	42,200			
	支援協議会/全鉄評	0			
	直接費小計	247,000	171,180	▲ 75,820	
	間接費				
	共通費用	146,100	127,410	▲ 18,690	
		101,900	87,120	▲ 14,780	・新規採用者(2名)なし
		44,200	40,290	▲ 3,910	・租税分差異、減価償却負担減(PC更新費用化)
経常費用計		393,100	298,590	▲ 94,510	
当期経常増減		200	59,160	58,960	

公益目的支出計画実施状況(実績対計画比)

(単位:千円)

	計画 (H25.6月策定)					実績					差異(実績－計画)				
	当期 実施事業 収入額	当期 公益目的 支出額	当期 公益目的 収支差額	期末残高	期首財産額	当期 実施事業 収入額	当期 公益目的 支出額	当期 公益目的 収支差額	期末残高	期首財産額	当期 実施事業 収入額	当期 公益目的 支出額	当期 公益目的 収支差額	期末残高	
	a	b	c	d=b-c	e=a+d	a'	b'	c'	d'=b'-c'	e'=a'+d'	a'-a	b'-b	c'-c	d'-d	e'-e
2013年度	528,107	116,000	136,700	▲ 20,700	507,407	528,107	114,744	144,752	▲ 30,008	498,099	0	▲ 1,256	8,052	▲ 9,308	▲ 9,308
2014年度	507,407	86,900	135,000	▲ 48,100	459,307	498,099	82,300	133,831	▲ 51,531	446,568	▲ 9,308	▲ 4,600	▲ 1,169	▲ 3,431	▲ 12,739
2015年度	459,307	77,700	116,900	▲ 39,200	420,107	446,568	101,510	153,451	▲ 51,941	394,627	▲ 12,739	23,810	36,551	▲ 12,741	▲ 25,480
2016年度	420,107	72,400	114,400	▲ 42,000	378,107	394,627	87,570	113,019	▲ 25,449	369,178	▲ 25,480	15,170	▲ 1,381	16,551	▲ 8,929
2017年度	378,107	75,700	119,400	▲ 43,700	334,407	369,178	91,574	135,630	▲ 44,056	325,122	▲ 8,929	15,874	16,230	▲ 356	▲ 9,285
2018年度	334,407	119,000	131,700	▲ 12,700	321,707	325,122	116,027	148,959	▲ 32,932	292,190	▲ 9,285	▲ 2,973	17,259	▲ 20,232	▲ 29,517
2019年度	321,707	90,000	130,000	▲ 40,000	281,707	292,190	54,966	121,040	▲ 66,074	226,116	▲ 29,517	▲ 35,034	▲ 8,960	▲ 26,074	▲ 55,591
2020年度	281,707	80,700	116,900	▲ 36,200	245,507	226,116	31,774	113,106	▲ 81,332	144,784	▲ 55,591	▲ 48,926	▲ 3,794	▲ 45,132	▲ 100,723
2021年度	245,507	75,400	114,400	▲ 39,000	206,507	144,784									

2021年度正会員会費

(単位:円)

正 会 員 名	金 額	正 会 員 名	金 額
北 海 道	10,422,000	滋 賀	2,872,800
計	10,422,000	京 都	3,466,800
青 森	3,909,600	大 阪	11,048,400
岩 手	2,959,200	兵 庫	9,622,800
宮 城	4,114,800	奈 良	2,646,000
秋 田	3,110,400	和 歌 山	2,732,400
山 形	2,505,600	計	32,389,200
福 島	5,205,600	鳥 取	1,738,800
計	21,805,200	島 根	1,393,200
茨 城	4,417,200	岡 山	3,088,800
栃 木	4,179,600	広 島	7,052,400
群 馬	6,350,400	山 口	3,931,200
埼 玉	5,464,800	計	17,204,400
千 葉	5,389,200	徳 島	2,926,800
東 京	5,248,800	香 川	3,045,600
神 奈 川	3,844,800	愛 媛	4,039,200
新 潟	8,359,200	高 知	2,278,800
山 梨	2,797,200	計	12,290,400
長 野	8,240,400	福 岡	7,192,800
計	54,291,600	佐 賀	2,084,400
富 山	5,227,200	長 崎	2,386,800
石 川	3,877,200	熊 本	4,006,800
福 井	6,069,600	大 分	2,592,000
計	15,174,000	宮 崎	2,710,800
岐 阜	5,108,400	鹿 児 島	3,196,800
静 岡	7,981,200	沖 縄	2,127,600
愛 知	10,897,200	計	26,298,000
三 重	5,335,200	総 計	219,196,800
計	29,322,000		

2021 全構協発第 号

2021 年 6 月 日

一般社団法人 全国鐵構工業協会
正会員各位

一般社団法人 全国鐵構工業協会
会 長 米 森 昭 夫

2021 年度<第 54 回>通常総会招集のご通知

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、一般社団法人 全国鐵構工業協会 第 54 回通常総会を、下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

議決権行使の方法には以下の三つの方法がありますが、今年度も昨年度に引続き新型コロナウイルス感染防止の観点から、議場へのご来場をできるだけ避けていただき、「書面による議決権行使」を選択されることをお勧めいたします。

〔議決権行使の方法〕

- ①会員指定代表者ご本人が総会に出席され議場にて議決権を行使する。
- ②会員指定代表者から委任された代理の方が出席し議場にて議決権を行使する。
- ③書面により議決権を行使する。（「議決権行使書」に議案に対する賛否を表示し、協会事務局に郵送する）

議決権行使の方法により手続きが異なりますので、次ページの「議決権行使の手続きについて」を参考にしてください。

敬具

〔記〕

- 1. 日 時： 2021 年 6 月 11 日(金) 15：00～16：30
- 2. 場 所： 鉄鋼会館 （701 室）
（東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10）
- 3. 議 案： 第 1 号議案： 2020 年度事業報告および決算承認の件
第 2 号議案： 2021 年度事業計画(案)および収支予算(案)承認の件
第 3 号議案： 2021 年度正会員会費額承認の件
第 4 号議案： 役員(理事)選任の件

* 例年、総会終了後に実施している表彰式及び懇親会は、本年も行いません。

ご注意：議決権行使の方法により手続きが異なりますので、次ページを参考にし、
お間違えのないよう お願いいたします。

【議決権行使の手続きについて】

議決権行使の方法により手続きが異なりますので、以下を参考にして、お間違えのないよう お願いいたします。

○会員指定代表者ご本人が総会に出席される場合：

「出席通知書」にお名前等必要事項を自署のうえ、総会当日会場受付に提出してください。

(提出されない場合、総会会場に入場できない場合がありますので、必ず持参してください)

○会員指定代表者ご本人が総会に欠席され、代理の方が出席される場合：

「委任状」に、代理人の貴団体における役職名及び お名前をご記入、押印のうえ、6月4日<金>までに当協会事務局に到着するよう郵送にてご送付ください。

○会員指定代表者ご本人、代理人ともに総会に出席されず、書面により議決権を行使される場合：

議案書をご検討のうえ、議案に対する賛否を「議決権行使書」の所定欄に表示され、お名前をご記入、押印のうえ、6月9日<水>までに当協会事務局に到着するよう郵送にてご送付ください。

以上

※ 5月上旬に行った「全構協・通常総会における表決方法の事前確認について」に対しまして、ほとんどの会員代表者の皆さんから「書面表決する」との回答をいただいておりますが、その後の事情の変化等で、「会員代表者本人または代理人が議場にて表決する」ことをご希望の方は、6月1日(火)までに、全構協・事務局総務部 平井または縁記まで電話にてご連絡くださいますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染予防のため、議場内は間隔を十分に確保した座席配置とするよう、座席数を大幅に減らしております。このため、事前のご連絡なしでお越しいただいた場合、議場にご入場いただけないことも考えられますので、必ず期日までに事前連絡くださいますようお願い申し上げます。

また、入室時には検温(非接触式体温計を準備しています)、手指のアルコール消毒にご協力いただき、議場内ではマスクを着用していただきます。

* 「会員代表者本人または代理人が議場にて表決する」ことをご希望の場合の連絡先
全構協・事務局 総務部 平井または縁記 Tel : 03-3667-6501

一般社団法人全国鐵構工業協会
会 長 米 森 昭 夫 殿

出席通知書

私は、2021年6月11日開催の第54回通常総会に出席し議決権を行使いたします。

2021年 月 日

住 所 _____

正会員名 _____

役 職 _____

氏 名 _____

一般社団法人全国鐵構工業協会
会 長 米 森 昭 夫 殿

委 任 状

私は、下記のものを代理人と定め、2021年6月11日開催の一般社団法人全国鐵構工業協会第54回通常総会における正会員としての一切の権限を委任します。

記

代理人：正会員名 _____
役 職 _____
名 前 _____

（ 代理人は、貴団体の役員に限らせていただきます。
また、代理人のお名前が記入されていない場合は、議長に委任されたものとして
取り扱わせていただきます。 ）

2021 年 月 日

住 所 _____
正会員名 _____
役 職 _____
氏 名 _____ ⑩

一般社団法人全国鐵構工業協会
会 長 米 森 昭 夫 殿

議 決 権 行 使 書

私は、2021 年 6 月 11 日開催の、一般社団法人全国鐵構工業協会第 54 回通常総会に付議される各議案について、下記の通り議決権を行使します。

(「次期役員候補者名簿」については、一人ずつ賛否を記入してください)

記

第 1 号議案	2020 年度事業報告および決算承認の件	賛	否
第 2 号議案	2021 年度事業計画(案)および収支予算(案)承認の件	賛	否
第 3 号議案	2021 年度正会員会費額承認の件	賛	否
第 4 号議案	役員(理事)選任の件 (別紙の「役員(理事)候補者名簿」に、 一人ずつ賛否を記入してください)	--	--

* 賛否欄の、該当する方に○印をご記入ください。

* 賛否欄に○印の表示をされていない場合には、棄権し決議に参加しなかったものとして取り扱わせていただきます。

2021 年 月 日

住 所 _____

正会員名 _____

役 職 _____

氏 名 _____ ⑩

【別紙：役員(理事)候補者】

※ 下表 1、2 各々の候補者について 賛否欄の該当する方に○を付けてください。

整理 番号	氏 名	年齢	所属団体・会社 及び 役職名	備 考	※賛 否	
1	岩永 洋尚 いわなが ひろなお	51	協同組合長崎県鉄構工業会 理事長 岩永工業株式会社 代表取締役	九州支部長	賛	否
2	小貫 武 おぬき たけし	63	瀬戸内共同火力株式会社 代表取締役・専務取締役 (2021 年 6 月 11 日付で退任予定)	元 JFE スチール(株) 勤務	賛	否

* 任期： 選任の時から、2022 年度総会終結まで。

第 5 4 回 通 常 総 会 議 事 次 第

一般社団法人 全国鐵構工業協会

場 所： 鉄 鋼 会 館
日 時： 2021 年 6 月 11 (金)
15 : 00 ~ 16 : 30

1. 開 会 の 辞
2. 定 足 数 確 認 報 告
3. 会 長 挨 拶
4. 議 長 選 任
5. 議 事 録 署 名 人 選 任
6. 議 案
 - 第 1 号議案 2020 年度事業報告および決算承認の件
(定款第 43 条 第 2 項)
 - 第 2 号議案 2021 年度事業計画(案)および収支予算(案)承認の件
 - 第 3 号議案 2021 年度正会員会費額承認の件
(定款第 7 条)
 - 第 4 号議案 役員(理事)選任の件
7. 議 長 退 席
8. 表 彰 対 象 者 報 告
9. 閉 会 の 辞

報 告 事 項

2021年4月27日

一般社団法人全国鐵構工業協会
会長 米森昭夫 殿

一般社団法人 全国鐵構工業協会

監事 村上眞樹

監事 野田博文

監事 高橋伸和

監 査 報 告 書

私たち監事3名は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第124条、同施行規則第36条及び第45条並びに定款第25条、第43条の規定に従い、2020年4月1日から2021年3月31日までの事業年度における理事の職務の執行状況及び当該年度に関する事業報告、計算書類、並びにこれらの附属明細書について監査を実施しました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、当該事業年度を通じて、理事及び使用人と意思疎通を図り、情報の収集に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

また、事業年度終了後、監事 村上眞樹は当協会の事務所において、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書を閲覧し、業務執行理事から報告を受け、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録、公益目的支出計画実施報告書について、その内容が適正で誤りがないか検討しました。

福岡県久留米市在勤の監事 野田博文及び島根県出雲市在勤の監事 高橋伸和は、新型コロナウイルス感染防止のため、上京を避け、監事 村上眞樹が確認した上記の書類と同じ書類一式を事務局から送付し、各勤務地においてそれらの内容が適正で誤りがないか検討しました。

3名の監事は、各々の監査結果を相互に確認した上で、以下の結果を得ました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ①理事の職務の執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に違反する事実はないと認めます。
- ②事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものと認めます。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

- ①計算書類及びその附属明細書は、当協会の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

(3) 公益目的支出計画実施報告書の監査結果

- ①公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、当協会の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

2021 年 5 月 20 日

退任理事に対する感謝状、記念品等の贈呈について

第 54 回通常総会(2021 年 6 月 11 日開催予定)をもって退任予定の下記の理事に対して、「表彰規程第 6 条及び 10 条」並びに「役員退任記念品等の運用細則」に基づき、感謝状及び記念品を贈呈します。

例年、通常総会終了後に行っている贈呈式については、新型コロナウイルス感染防止のため中止とし、対象者宛てに郵送(書留等)にてお届けすることとします。

〔記〕

1. 理事退任者(敬称省略)

氏 名	贈呈品
神崎 隆一	感謝状、ギフトカード

[参考]

(退任役員に対する感謝)

第6条

退任役員に対する感謝は、以下に該当するものとする。

(1) 理事または監事として2年以上その任にあった者

(表彰の方法)

第10条

表彰は、原則として、毎年通常総会開催日に、会長から表彰状又は感謝状を授与して行い、記念品の贈呈もできるものとする。

2 記念品の内容、金額等は別に定めるものとする。

※ 役員退任記念品等の運用細則 [内規]

表彰規程第10条に定める記念品は、下記の通りとする。

対象者	表彰時期	内容	金額
会長および 副会長	退任時	感謝状	会 長 :20 万円×任期数 副会長:10 万円×任期数 (上限なし)
理事および監事 (構成員のみ。 ・常勤役員は、常勤 役員退職金規程に よる。 ・構成員以外の理 事・監事は、都度会 長が理事会に諮り 決める。)	退任時	感謝状	在任1期につき:5万円 (上限なし) 理事、監事各々退任時
正会員役員 正会員事務局職員 および 全構協事務局職員	在任10年時 勤続10年ごと 勤続10年ごと	表彰状	3万円 3万円 3万円

〈 2021 年度 〉

第 1 回 技術委員会 議事録

1. 日 時 2021 年 4 月 14 日（水） 14：30～16：30
2. 場 所 Web 会議（ホスト：全構協事務所）
3. 出席者 井原委員長、斎藤、上柿両副委員長
萩澤、今泉、大谷、西山、藤井、渡部、岩永 各委員（欠席；大谷委員）
米森会長
（事務局） 辰巳、大橋、高野、新村、野本、瓜生
4. 議事次第 資料 No.
 - 1) 会長挨拶
 - 2) 委員長挨拶
 - 3) 前回議事録の確認
 - ・ 前回（1 月 27 日開催） 議事録
 - 4) WG 活動報告
 - ①溶接ヒューム規制強化について（安全衛生WG）
 - ・ WG 議事録（3/10 開催）・・・・・・・・・・ No. 1
 - ・ 溶接ヒューム濃度測定の実測報告
 - 実施例 1 ・・・・・・・・・・ No. 2
 - 実施例 2 ・・・・・・・・・・ No. 3
 - 実測結果一覧・・・・・・・・・・ No. 4
 - 会員専用ホームページへの掲載（案）・・・・・・・・・・ No. 5
 - ・ 補助金情報
 - 有害ばく露防止対策の支援（厚労省）・・・・・・・・・・ No. 6
 - ・ フィットテストについて
 - フィットテスト実施者への教育（厚労省）・・・・・・・・・・ No. 7
 - フィットテスター・・・・・・・・・・ 参考
 - ②コラム半自動溶接の溶接施工実験について（溶接施工WG）
 - ・ 「鉄骨製作工場の基準マニュアル集」の内容確認
 - 5) 2020 年度技術関連事業報告
 - ・ 2020 年度技術関連事業報告（案）・・・・・・・・・・ No. 8
 - ・ 2021 年度技術関連事業計画（案）・・・・・・・・・・ No. 9
 - 6) その他
 - ①塗膜剥離について
 - ・ 塗膜剥離関連資料 ・・・・・・・・・・ No. 10
 - ②次回開催について

5. 議事要旨

1) 会長挨拶

開催に先立ち米森会長より、W e b 開催となり慣れてなくて大変だが、理事会で出した内容について各WGで協議して技術委員会ですとまとめてほしい。今後は、必要に応じて他団体とも連携して進めていきたいのでよろしくお願いしたい旨の挨拶があった。

2) 委員長挨拶

井原委員長より、コロナが増加傾向にあるのでW e b 開催とした。対面の会議は当面難しいので慣れるしかない。前回同様、2大テーマについてが主な議題となるのでよろしくお願いしたい旨の挨拶があった。

3) 前回議事録の確認

事務局より前回議事録が読み上げ確認した。

4) WG活動報告

各WGの活動について、G Lおよび事務局から報告があった。

①溶接ヒューム規制強化について（安全衛生WG）

齋藤G Lより、資料No. 1～5に基づき情報公開について報告があった。

- ・溶接ヒューム規制について、3社からの情報をホームページの会員専用コーナーに掲載する。
- ・自社でも8名の検査を行ったので、結果が出次第、追加して情報提供をしたい。作業者の条件を変えた測定なので参考になると思われる。
- ・複数の測定者の内、高い方の値が工場の計測値となる。現在よく利用されているマスクの防護係数は「10」と思われるので、防護係数が10を超える場合はマスクの見直しが必要となる。

上記に関連して、委員より次の報告があった。

岩永委員；産業医科大と共同で46名の調査を予定しているので、結果が出次第、情報公開したい。

西山委員；ヒュームコレクター（トーキン製）のテストを予定しており、結果がでたら報告する。

・有害ばく露防止対策の支援について

事務局より、資料N o. 6に基づき補助金制度についての最新情報を報告した。要点は以下の通り。

- ・測定費用の半額補助（測定者1名に対し2万円迄、1事業者当たり最大8万円、）
- ・1事業者で4名計測することが多いので最大額を補助される場合が多いと思われる。
- ・現在は補助事業者を選定中であり、確定次第、申請先・申込方法など詳細情報をホームページに掲載し、周知する。
- ・申請前に発注済みの測定については補助の対象とならないため注意が必要となる。

・フィットテストについて

事務局より4月に公布された通達のフィットテスト実施者への教育について資料N o. 7

および参考資料に基づき報告した。要点は以下の通り。

- ・年1回のフィットテスト実施が義務付けられる（2023年度から必須）
- ・フィットテスト実施者の規定はないが必要な教育を受けたものが望ましい。
- ・フィットテスト実施者は教育カリキュラム（約5時間、教材はJ I Sに規定）に基づいた講習会受講が必要
- ・全構協会員を対象とした「フィットテスト実施者向けの教育講習会」実施について、是非を含めてWGで検討いただきたい。

以上のフィットテストに関連した報告について、委員及び事務局間で以下の意見交換がなされた。

Q：フィットテスト実施者は各社にいないといけないのか？

A：外部委託でもよいが、記録は各社が保存する必要がある。

Q：測定装置も各社に置く必要があるのか、購入補助等はあるのか？

A：安い機種でも85万程度するので各社に置くのは難しいと思われる。購入補助制度はないが、メーカーがリースを検討しているとの情報もある。

Q：組合事業として機器購入、測定業務を行うことも考えられる。

A：実施方法についてWGで検討し、委員会に報告する。

②コラム半自動溶接の溶接施工実験について（溶接施工WG）

上柿G Lより溶接施工実験の経過報告が行われた。要点は以下の通り。

- ・現在までに4体の破壊実験が神戸大学で行われており、今後9体の実験を計画中。
- ・コラムR部の靱性の低い材料で実験を行いたいとの提案があり、現在材料を確認中。
- ・浅田先生が芝浦工大に異動となるが本実験については引き続き神戸大学で行う。
- ・追加実験についてはまとめ次第WGに報告予定。

上記に関連して、事務局より以下の補足をした。

- ・本実験に関して2021年度建築学会大会で論文発表予定（神戸大学が主体）
- ・工作基準マニュアルへの反映は2021年度を予定していたが1年程度遅れる見込み。
- ・溶接施工WGは当面の間、基準マニュアル集の見直しをお願いしたい。
- ・見直した基準マニュアル集は、ホームページ会員専用コーナーに掲載する。（C D版の配布は行わない）

5）2020 年度技術関連事業報告

事務局より、資料N o. 8 および資料N o. 9 に基づいて2020年度技術関連事業報告（案）と2021年度技術事業関連計画（案）を説明し、了承された。

6）その他

①塗膜剥離について

事務局より資料N o. 10について、鉄連からの問い合わせがあった旨と、鉄連と全構協間で意見交換が行われた旨が報告された。

本件について委員間で意見交換が行われた。要点は以下の通り。

- ・資料のようにひどい状況はあまり見たことがない。（ブラストしているため）
- ・ミルスケールの剥離について検査で指摘されたことは少ない。
- ・上塗り後に剥離が発生したことがある。（上塗りの収縮が原因で剥離）
- ・ショットブラストをかけている材料は基本的に問題ない。

- ・建て方延期などで長期保管していた場合に剥離が発生することがあり、下地処理が重要
- ・あまり問題を大きくするとすべての製品でショットブラストを要求されかねない。

上記の問題に関して、各委員にヒアリングを行ってほしい旨依頼し、詳細は、後日事務局よりメールすることとした。

②次回開催について

次回開催については各WGの進行状況により開催時期を検討することとした。

以 上

第2回事業継承対策WG 活動報告

I. 日時：2021年5月13日（木）10：00 ～ 11：15

II. 場所：Web会議（全構協 会議室）

III. 出席者

（委員長）出雲リーダー

（委員）村岡委員、渡邊委員、大井委員

（事務局）大橋常務、平井（記）

IV 協議・検討内容

◎前回WGで実施が提案された、事業継承に関する調査（アンケート）について協議を行った。

（1）事業継承に関する調査（アンケート）の考え方

- ・事業継承に関する調査については、十分な秘匿性が確保されることが重要。
⇒調査の方法（ルート）については、情報管理の観点から検討する必要がある。
- ・調査する情報については、踏み込んだ内容だと答え難くなり回答が期待できない。
⇒まずは、事業継承に関する悩みがあるかといった入口的な質問を検討する。

（2）調査方法（ルート）について

- ・全構協のHPを改造して匿名での回答が出来る様にしてはどうか。
⇒有効な意見だが、足元すぐの実現は難しい。※HP改造WGで検討
- ・毎年実施している業績調査アンケートの中で、質問内容を絞って実施するのが現実的かつ効率的な方法である。

（3）調査内容について

◎まずは、今後の検討に繋がる様な、全体感を掴む入口的な質問を検討する。

＜具体的な質問（検討中）＞

- ① 今後の事業継承を想定していますか？ 事業継承に関する悩みがありますか？
- ② 事業継承に関する不安、悩みがあるとすれば何ですか？（→後継者、株式等）
- ③ 事業継承があるとすればいつ頃ですか？（5年後、10年度、もっと先）
- ④ 相談窓口情報、全構協へ求める情報等

（4）今後の検討の進め方

- ・調査アンケート案を作成、メンバーへ発信。〔事務局〕
- ・6月中旬を目途に第3回WGを（Web）開催し、アンケート内容を精査。
業績調査アンケート（7月実施予定）の中で、調査を行うべく準備を進める。
- ・アンケート結果を踏まえ、今後の検討内容、提言内容等を検討する。

以上

2021 年 5 月 21 日

全構協正会員

各都道府県組合（工業会）御中

一般社団法人全国鐵構工業協会

ホームページ改造 WG リーダー

東北支部長

渡辺 勝

全構協ホームページでの工場詳細情報掲載に関する事前調査のお願い

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、全構協では、鉄骨製作業界の品質管理体制を確保するための施策の一環として、全構協ホームページの「構成員の紹介」コーナーに、別紙の詳細情報について追加掲載することを検討しています。

追加掲載する情報は、主に本コーナーをご活用いただいている工事発注者が、工事の難易度や規模に応じた最適な工場を選定しやすくするためのもので、希望する構成員のみ、自己申請情報の掲載を考えております。

つきましては、本コーナーのシステム改善等詳細な検討を進めるにあたり、予め掲載希望者の有無を把握したく、貴会構成員を対象とした事前調査をお願い申し上げます。

お忙しいところ恐縮ですが、添付の「アンケートのお願い」(Word)を貴会用にアレンジして、
＜別紙＞「認定工場リスト書式(案)」とともに貴会構成員全員に送付し、各社の回答を添付の「事前調査回答一覧表」(Excel)の当該組合シートに記入のうえ、**6月21日まで**にメールにて返送下さりますようお願い致します。

敬具

(事務取扱；技術部 千田)

2021 年 5 月 XX 日

構成員各位

〇〇都道府県〇〇〇〇組合
理事長・会長 〇〇〇〇

全構協ホームページでの工場詳細情報公開に関するアンケートのお願い

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、全構協では、2017 年より鉄骨製作業界の品質管理体制を確保するための施策を検討し、これまで、「全構協基本理念・行動指針」の制定・配布と「工場認定条件の保持状況の確認」を実施してきました。

この施策の一環として、全構協ホームページの「構成員の紹介」コーナーの「大臣認定取得構成員工場の検索」に、希望する構成員については、工場規模・加工能力等の詳細情報を追加公開することを検討しています。具体的な追加情報については別紙をご覧ください。

この情報と現状の認定グレード情報と併用することで、工事発注者は、工事の難易度と規模に応じた最適な工場を選定すること容易となります。また、構成員工場間での仕事の分担による工期変更等への対応がしやすくなり、鉄骨の納期と品質確保につながります。

この制度を実施する場合、構成員の何%程度が工場詳細情報の公開を希望するかを予めアンケートで調査したうえで、全構協のシステムの追加・修正方法と運用体制を検討したいと考えております。

次頁のアンケート用紙に回答を記入のうえ、6 月 XX 日までに E メールまたは FAX で組合事務局まで送付をお願い申し上げます。

敬具

〇〇都道府県〇〇〇〇組合

専務理事・事務局長 殿

工場詳細情報の公開に関するアンケート回答

掲題の件、下記の通り回答します。

記

全構協ホームページの「大臣認定取得構成員工場の検索」における認定工場リストに工場詳細情報欄を追加した場合、

☐	工場詳細情報の公開を希望する
☐	工場詳細情報の公開を希望しない

↑ どちらかに○を付けてください

2021 年 月 日

会社名 _____

代表者氏名 _____

以上

認定工場リスト書式(案)

＜別紙＞

[illegible]

現状の記載情報

工場詳細情報(追加情報)^{※1}

※1 工場詳細情報の公開を希望する構成員は、年1回、その情報を所定書式のエクセルファイルで所属組合経由で全構協に提出する。

※2 会社のホームページにリンクする。(現状は、希望する会社名がHPにハイパーリンクしている。)

※3 所属組合のホームページにリンクする。

全構協 業界紹介ポスターの ランディングサイト（案） （スマホ版）

鉄骨業界で働こう／全国鐵構工業協会

<https://tekkotsu-job.jp/>



鉄骨の世界へ
ようこそ！

鉄骨業界の魅力を
動画とともにお伝
えます

鉄骨ガールと工場見学

アニメを実写と合わせて、鉄骨製造業の仕事を分かりやすく紹介している動画です。

鉄骨ガールが工場を案内します。



信頼で築く、建築鉄骨の未来

鉄骨製作会社の仕事とはどのようなものか、鉄骨加工業とはどんな業界なのかを詳しく紹介しています。



鉄骨 Femaleチャンネル

鉄骨製造業には女性が活躍できる仕事がたくさんあり、すでに多くの女性が活躍しています。

この動画は、そんな女性たちがイキイキと働いている姿を紹介しています。

YouTubeでも見るができます。



鉄骨とは？



鉄骨とは建物の骨格となる鉄の構造物で、町の店舗から体育館やホール、高層ビルなど様々な建物に使われています。

鉄骨が支える建物はとても頑丈で、地震に強いことはもちろん、体育館のような大きな空間が作れ、工期が短いという特長を持つため、大規模建築物のほとんどは鉄骨でつくられています。

鉄骨製造業とは？



その鉄骨を作るのが鉄骨製造業です。

設計図に基づき、鋼管、H形鋼、鋼板などを切断、孔あけし、溶接で柱や梁などの部材を組立て製作する仕事で、その大部分は、工場の中で行われます。

また、溶接ロボットや自動加工機等の最先端技術を駆使して、スピーディーに行われるので、高精度で短い工期で製作できるのが特長です。

鉄骨製造業の魅力とは？

★ものづくりの面白さを 楽しめます

建物のデザインは二つとして同じものはありません。鉄骨製作工場では自動車のような大量生産の自動化ラインの工場と違い、建物ごとに製作用の図面を作成し、加工から組立・溶接・検査まで、一品一品丁寧に製品を仕上げます。次はどんな建物にチャレンジできるか楽しみです。

★将来性のある業界です

建物は生活や経済活動に欠かせません。中でも鉄骨造の建物は、耐震性、耐久性に優れ、設計の自由度も高く工期短縮が容易で材料のリサイクル性にも優れ、環境への配慮などの社会ニーズにこたえることができるものであることから、今後の成長が期待できます。

★建物として残る仕事です

鉄骨は建物になってしまうと壁などの外装材で隠れてしましますが、地震や台風にも耐えながら何十年も建物を支え続けます。「街のあの建物は自分が作った鉄骨が支えているんだ」と誇りに思える職業です。

★地元で働ける仕事です

鉄骨製造業は、建物があるところならどこでも必要な仕事です。国土交通大臣の認定を取得し、高品質の鉄骨を製造する工場は全国各地に2000社以上あり、あなたの希望にあった土地での就職ができます。生まれ育った地元で就職して自宅通勤もできるし、「あこがれの街で働く夢」も実現できます。

★女性も安心して働けます

建築やものづくりに興味はあるけれど、「仕事はちょっとキツイ」と思っている女性でも、鉄骨製造業には、図面作成や溶接、検査など、細やかなスキルが求められ女性が活躍できる仕事がたくさんあり、すでに多くの女性が活躍しています。

★技術が身につき資格も 取れます

鉄骨の製作にはCAD、溶接、超音波探傷検査等の多くの高度な専門技術が使われ、必要な資格を取得するための教育も充実しています。資格を取得すれば、さらに高度な仕事もできるようになり、キャリアアップにつながります。

★自分に合った職種が選 べます

鉄骨製造業では、設計、加工組立、溶接、検査等の多様な職種の人が協力して製品を作り上げています。一人ひとりが自分の適性や希望にふさわしい職種・働き方を見つけて、誇りをもって働くことができます。

鉄骨製造業の仕事とは？

鉄骨製造業には多様な職種があり、それぞれが協力して製品を作り上げています。

設計



発注者が作成した設計図や設計図書をもとに、CADなどを駆使して鉄骨を製作するための工作図、様々な申請や承認を得るために必要な図面や製作要領書の作成を行います。

加工



鋼材受入の際に材料検査を行います。その後、工作図にしたがって切断加工・孔あけ加工・開先加工等を行います。

組立



設計図書および工作図・製作要領書にもとづき組立・および組立溶接を行います。組立は、出来るだけ各種の治具を利用し、部材相互の位置を保ちながら、溶接の変形を少なくするための逆歪みや拘束を加えます。

溶接



組立・組立溶接された工作物の構造上主要な部材及び接合部の溶接を行います。溶接作業を行うためには専門の資格が必要です。

ロボット溶接



溶接には、様々な溶接方法があり、近年ではロボットによる溶接も増えております。

塗装



鉄骨が錆びることを防ぐため塗装を行います。

製品検査



組立した製品や溶接部分の寸法や形状が設計図どおりになっているか、計測器具を用いて検査します。

※この検査作業を行うためには専門の資格が必要です

超音波検査



溶接部については、鉄骨強度に悪影響を及ぼす内部欠陥がないか確認するため、専用機器を用いて超音波検査を行います。

※この検査作業を行うためには専門の資格が必要です

現場搬入・組立



工場で製作された鉄骨を大型トラック等で現場まで運搬します。鉄骨を製作した工場が、クレーン等の重機を使用して現場組立や現場溶接を行うこともあります

あなたの街の鉄骨製造業について

各都道府県に鉄骨製造業の組合があります。

あなたの街の鉄骨製造業については、下記の一覧表の、お近くの組合にお尋ね下さい。

また、（一社）全国鉄構工業協会のホームページの「[構成員の紹介](#)」コーナーで、各地域・各都道府県の鉄骨製作会社を検索することができます。



各都道府県の鉄骨製造業の組合一覧

北海道

東北

青 森	青森県鉄工連協賛組合	0170-33-0460
岩 手	岩手県鉄構工業協賛組合	019-652-1684
宮 城	宮城県鉄構工業協賛組合	022-296-4492
秋 田	秋田県鉄構工業協賛組合	018-863-9222
山 形	山形県鉄構工業協賛組合	023-643-6634
福 島	福島県鉄構工業協賛組合	024-931-5461

関東

北 陸

中 部

近 畿

中 国

四 国

九 州



Copyright©2021 Japan Steel Fabricators Association all rights reserved.

未来を築く 鉄骨業界で働こう

ファブリケーター・鉄骨製造業という仕事

さあ、あなたも鉄骨の世界で
骨のある人間になりましょう!

かわいい
鉄骨の魅力は
QRコードから
見られるニャン



未来ある
鉄骨の世界で
会いましょう

鉄骨ガール



一般社団法人
全国鉄構工業協会
Japan Steel Fabricators Association

[ご希望により 組合名等名称を記したシール等を張り付ける余白を設けてあります。]

あなたの町の鉄骨製造業について

各都道府県に鉄骨製造業の組合があります。あなたの町の鉄骨製造業については、下記一覧表の、お近くの組合にお尋ね下さい。また、(一社)全国鉄構工業協会のホームページ (<http://www.jsfa.or.jp>) の「構成員の紹介」コーナーで、各地域・各都道府県の鉄骨製作会社を検索することができます。



支部名	正会員名	郵便番号	所在地	電話番号
北海道	(一社)北海道機械工業会鉄骨部会	060-0001	札幌市中央区北一条西7丁目3-2 北一条大和田ビル4階	011-221-3375
東北	青森県鉄工連協同組合	039-1161	八戸市大字河原木字浜名谷地76-322 八戸工業会館2階	0178-38-0460
	岩手県鉄構工業協同組合	020-0022	盛岡市大通3-2-8 岩手県金属工業会館4階	019-652-1684
	宮城県鉄構工業協同組合	984-0051	仙台市若林区新寺1-6-8 チサンマンション 第三仙台304号	022-296-4492
	秋田県鉄構工業協同組合	010-0941	秋田市川尻町字大川反170-44	018-863-9222
	山形県鉄構工業組合	990-2482	山形市久保田1-7-1 山形酸素(株)2階	023-643-6634
	福島県鉄構工業組合	960-8055	福島市野田町6-6-6	024-535-5461
関東	茨城県鉄構工業協同組合	310-0852	水戸市笠原町600-35 明豊ビル内	029-305-2202
	(一社)栃木県鉄構工業会	321-0923	宇都宮市下栗町699-7	028-656-9201
	群馬県鉄構工業協同組合	371-0804	前橋市六供町1074	027-265-5588
	埼玉県鉄構工業協同組合	350-0011	川越市久下戸3081-1	049-235-9900
	協同組合千葉県鉄骨工業会	260-0045	千葉市中央区弁天1-21-3 石橋弁天ビル	043-301-6522
	東京鉄構工業協同組合	104-0032	東京都中央区八丁堀3-9-5 KSビル内	03-5566-1595
	神奈川県鉄構工業協同組合	220-0004	横浜西区北幸2-9-30 横浜西口加藤ビル4階	045-290-7600
	新潟県鉄骨工業組合	950-2027	新潟市西区小新大通1-5-3	025-230-3456
	(一社)山梨県鉄構溶接協会	400-0055	甲府市大津町317-2	055-241-9141
北陸	富山県鉄構工業協同組合	930-0083	富山市総曲輪2-1-3 富山商工会議所ビル6階	076-422-4580
	石川県鉄骨工業協同組合	921-8036	金沢市弥生2-1-23 石川県建設総合センター6階	076-244-1866
	福井県建設鉄工協同組合	910-0828	福井市林町第62号5番地	0776-54-7227
中部	岐阜県鉄構工業協同組合	500-8358	岐阜市六条南2-11-1 岐阜産業会館内	058-273-8234
	静岡県鉄構工業協同組合	420-0858	静岡市葵区伝馬町16-3 シルクスクエア2号館2階	054-275-3001
	愛知県鉄構工業協同組合	460-0022	名古屋市中区金山1-14-9 長谷川ビル内	052-331-4808
	三重県鉄構工業協同組合	514-0057	津市一色町東浦302	059-225-4620
近畿	滋賀県鉄構工業組合	529-1175	滋賀県犬上郡豊郷町大字沢172-1	0749-35-2350
	京都府鉄構工業協同組合	615-0022	京都市右京区西院平町25 ライフプラザ西大路四条1階	075-323-4554
	大阪府鉄構建設業協同組合	550-0005	大阪市西区西本町2-5-28 コスモ西本町ビル内	06-6533-1011
	兵庫県鉄工建設業協同組合	651-0086	神戸市中央区磯上通8-1-30 テッケンビル5階	078-232-1370
	奈良県鉄構建設業協同組合	634-0008	橿原市十市町1037	0744-25-7519
	和歌山県鉄構工業協同組合連合会	640-8068	和歌山市二筋目32 池田マンション102号	073-425-7707
中国	協同組合鳥取県鉄構工業会	682-0017	鳥取県倉吉市清谷町2-68 パレットハウスI-105号	0858-24-5702
	協同組合島根県鉄構工業会	690-0017	松江市西津田1-9-50	0852-24-2157
	協同組合岡山県鉄構工業会	700-0936	岡山市北区富田317-3 フローラルガーデンB-108号	086-238-8835
	協同組合広島県鉄構工業会	733-0003	広島市西区三篠町1-13-9 中谷ビル内	082-238-6539
	山口県鉄構工業組合	753-0074	山口市中央4-5-16 山口県商工会館内2階	083-924-6364
四国	徳島県鉄骨構造協同組合	770-8006	徳島市新浜町1-1-7 技能会館内	088-663-2551
	香川県鋼構造協同組合	760-0022	高松市西内町7-22 藤田ビル2階	087-851-8611
	協同組合愛媛県鉄構工業会	791-0213	愛媛県東温市牛淵横畑1094-1	089-964-9471
	高知県鉄骨構造協同組合	780-8066	高知県高知市朝倉5253-5 コーポ鏡岩パートII 101	088-821-9420
九州	工業組合福岡県鉄構工業会	812-0012	福岡市博多区博多駅中央街5-11 第13泰平ビル6階	092-292-3221
	協同組合佐賀県鉄構工業会	840-0862	佐賀市嘉瀬町大字扇町2403-1	0952-29-7840
	協同組合長崎県鉄構工業会	851-2126	西彼杵郡長与町吉無田郷2026-1 石本ビル2階	095-885-7700
	協同組合熊本県鉄構工業会	862-0911	熊本市東区健軍3-31-12 タケダコーポ1階	096-331-3488
	協同組合大分県鉄構工業会	870-0268	大分市政所2-3-9	097-593-5008
	協同組合宮崎県鉄構工業会	880-0051	宮崎市江平西1-2-27 第3丸三ビル内	0985-24-8282
	協同組合鹿児島県鉄構工業会	890-0073	鹿児島市宇宿2-5-4 機械金属団地(協)内	099-256-1460
	協同組合沖縄県鉄構工業会	901-2104	沖縄県浦添市当山2-8-7 キャッスルサイド浦添103号	098-942-0185

(2021年3月現在)

2021年5月21日

全構協正会員

理事長・会長 各位

専務理事・事務局長 各位

一般社団法人全国鐵構工業協会

総務部

業界紹介ポスター等の作成・配布について（協力のお願い）

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、当協会の諸事業にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

既にご連絡させて頂きました通り、当協会では、「鉄骨製造業界の社会的認知度が低く、円滑な採用活動の妨げとなっている」との指摘に応え、大学、高校、職業訓練校等の就職支援窓口に掲示する業界紹介ポスター・リーフレットの作成について「採用ポスター作成WG」等で検討を重ね、この度、鉄骨業界のPR用ポスター・リーフレットを作成し、併せて、これに連動したWebサイトを立ち上げました。

このうち、ポスター・リーフレットの配布方法につきまして、5月20日（木）に開催した2021年度第1回全構協理事会において協議の結果、各正会員（都道府県組合等）主体で配布していただくことが了承されました。

つきましては、正会員におかれましては、下記の作業を進めてくださいますよう、ご協力をお願い申し上げます。

敬具

【記】

（1）ご協力をお願いする事項

1）ポスター等の配布必要部数の再確認

先般お伺いした、各正会員の必要部数（ポスター・リーフレット・送付用封筒、詳細別表参照）について、再確認をお願いします。

2）ポスター等の配布作業

各都道府県の事情に合わせ最適な方法で関係先に配布いただきますようお願いいたします。

※上記「1）配布必要部数の再確認」「2）配布方法」については、別紙にて
5月28日（金）までにメール又はFAXで全構協事務局までご連絡願います。

3）業界に関する問合せへの対応

リーフレットには、各正会員事務局の連絡先を記載しており、また、これに連動したWeb情報サイトでは、HPを開設している各正会員HPへのリンクが設定されています。

各地域・県において当業界に関心のある方等から各正会員事務局に問合せ等が

ありましたら、適宜適切にご対応下さいますようお願い申し上げます。

鉄骨業界情報サイトのURL：<https://tekkotsu-job.jp/>

(参考) 正会員へお送りするもの

①ポスター

(関係先掲示用 A 2 版片面サイズをA 4 版程度の大きさに折たたみ処理)

②リーフレット (別紙リーフレット見本参照)

(配布用 A 4 版両面 表面：ポスターと同デザイン、裏面：各正会員連絡先を記載)

※追加印刷等に活用可能なリーフレット電子データを各正会員に別途送付予定

③送付用封筒 (A 4 版 各正会員から配布先への送付時に使用)

(2) 今後の予定 (案)

1) 全構協 : ポスター配布希望部数の再確認 2021年5月下旬

2) 全構協 : ポスターの各正会員への送付 2021年6月上旬頃

※配布時期が判明次第事前連絡の上で送付します。

3) 各正会員 : 各正会員において、関係先へ配布 2021年6月上旬頃～

(3) その他

ご不明な点等がありましたら、全構協事務局 中村までお願いします。

以上

(別紙)

全構協 中村 行

F A X 03-3667-6960

採用ポスターについて（必要部数・配布方法等回答）

次の通り回答します。

2021年 月 日

正会員名 _____

※下記について該当箇所に○印・部数・要望等を記入願います。

1. ポスター等（ポスター版、リーフレット版、送付用封筒）の
必要部数について（別紙一覧参照）

- | | |
|-----------|--------|
| 1. 「変更なし」 | |
| 2. 「変更あり」 | |
| ポスター | _____部 |
| リーフレット | _____部 |
| 送付用封筒 | _____部 |
| 3. 現在確認中 | |

※「変更あり」の場合、変更理由等について記載願います。
状況により配布部数を調整する場合がありますのでご了承願います。

2. ポスター等の配布方法について

…現時点で予定されている配布方法について

- | | |
|--------------------|-------|
| 1. 「地元の青年部経由で配布」 | |
| 2. 「正会員役員、委員等が配布」 | |
| 3. 「正会員から関係先へ直接配布」 | |
| 4. 「所属構成員が配布」 | |
| 5. その他 | _____ |
| 6. 現在調整中 | |

3. その他要望等がございましたら、ご記入願います。

以上

全構協 業界紹介ポスター-各県組合希望数一覧

2021年5月13日

都道府県	回答済	部数 検討中	未回答	ポスター版		リーフレット版		送付用封筒	
				組合希望数①	全構協原案数② ③(①-②)	組合希望数④	全構協原案数⑤ ⑥(④-⑤)	組合希望数⑦	全構協原案数⑧ ⑨(⑦-⑧)
1 北海道		●		210	210	210	210	210	210
2 青森	○			70	70	70	70	50	70
3 岩手	○			70	70	70	70	70	70
4 宮城	●			80	80	80	80	80	80
5 秋田	○			75	50	300	250	30	50
6 山形	○			50	50	50	50	50	50
7 福島	○			90	80	450	370	90	80
8 茨城		△		90	90	90	90	90	90
9 栃木		●		70	70	70	70	70	70
10 群馬	○			70	70	70	70	70	70
11 埼玉	○			100	150	100	150	100	150
12 千葉	○			20	150	100	150	100	150
13 東京	○			190	380	1,900	1,520	190	380
14 神奈川	○			240	170	240	170	120	170
15 新潟	○			0	90	90	90	90	90
19 山梨	○			70	50	70	50	30	50
20 長野	○			90	90	90	90	90	90
16 富山	○			50	50	50	50	40	50
17 石川	○			60	60	60	60	60	60
18 福井	○			40	40	80	40	40	40
21 岐阜	○			60	70	600	70	50	70
22 静岡		●		100	100	100	100	100	100
23 愛知	○			100	190	210	20	50	190
24 三重	○			60	60	60	60	60	60
25 滋賀	○			50	50	50	50	50	50
26 京都		●		100	100	100	100	100	100
27 大阪	○			210	210	210	210	210	210
28 兵庫		●		160	160	160	160	160	160
29 奈良		●		50	50	50	50	50	50
30 和歌山	○			50	50	50	50	50	50
31 鳥取	○			40	40	80	40	40	40
32 島根	○			50	50	300	250	50	50
33 岡山	○			80	80	80	80	80	80
34 広島	○			90	100	90	100	90	100
35 山口	○			120	70	120	70	80	70
36 徳島	○			40	40	40	40	40	40
37 香川		●		40	40	40	40	40	40
38 愛媛	○			20	60	55	5	40	60
39 高知		●		50	50	50	50	50	50
40 福岡		●		150	150	150	150	150	150
41 佐賀	○			40	40	40	40	40	40
42 長崎		●		60	60	60	60	60	60
43 熊本		●		60	60	60	60	60	60
44 大分		●		60	60	60	60	60	60
45 宮崎	○			60	50	60	10	60	50
46 鹿児島	○			70	70	100	30	50	70
47 沖縄		●		60	60	60	60	60	60
合計				3,765	4,190	7,275	4,190	3,805	4,190
					-425				-590

32 14 1

※現時点で「配布必要部数検討中」「未回答」の組合は、全構協送付部数原案数(②)を暫定計上

2021.05.00.

第54回通常総会 開催・運営要領 (案)

1. 開催日時: 2021 年 6 月 11 日(金) 15:00～16:30 (参考: 全鉄評株主総会 14:00～14:45)

2. 開催場所: 鉄鋼会館 701 号室

3. 出席者: [理事(議決権無し)] ・米森 ・辰巳 ・大橋 ・齊藤
(敬称省略) [会員代表者] ・永井 ・大島 ・山本

[監 事]

・村上

〈計〇〇 名〉

※ 他の会員代表者は、書面により議決権行使。

4. 役割

- 議長 ・
- 説明者 ・辰巳 ・大橋
- 議事録署名人 ・ ・
- 司会(進行役) ・平井(出席者員数外)
- 受付 ・中村

5. 議事次第

- 開会の辞(辰巳専務理事)
- 議事進行上の注意事項(司会)
- 定員数確認報告(司会)
- 会長挨拶(米森会長)
- 議事録署名人選任(議長)
- 議案審議(議長)(説明は・辰巳 ・大橋)
 - 第1号議案: 2020 年度事業報告及び決算承認の件
 - 第2号議案: 2021 年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件
 - 第3号議案: 2021 年度正会員会費額承認の件
 - 第4号議案: 役員(理事)選任の件
- 議長退席(司会)
- 表章対象者報告(司会)
- 閉会の辞(辰巳専務理事)

6. 感染防止策

- ・受付時体温確認(非接触式体温計)
- ・マスク着用(常時)
- ・入室時、手のアルコール消毒
- ・座席間隔 2m以上確保
- ・窓開放(常時)による換気
- ・共用接触部適宜アルコール消毒(ドアノブ等)

以上

そ の 他 の 事 項

構成員登録・取消社数累計表

登録・取消承認日	全構協受付締切日	登録社数	取消社数	合計社数
令和3年3月31日現在 (令和2年度増減数)		32	34	2,197
令和3年5月20日 第1回理事会	3月31日	()内数字は3月31日に繰入 (0)	(12)	2,197
累 計		0	0	2,197

《グレード別内訳》

S : 5 H : 273 M : 826 R : 602 J : 45 未 : 446 合計 : 2,197

登録構成員増減及び取消理由別社数一覧表

令和3年3月31日現在

令和5年3月31日現在

区分	登録・取消 承認	増 減									増減差	増 減 後 構 成 員 数	
		登録 社数	取消社数										
			倒 産	転・廃業	縮 小	工場閉鎖	休 業	そ の 他	合 計				
平成12年度合計		22	48	52	31	11	5	83	230	-208	3,518		
平成13年度合計		22	48	59	37	10	8	117	279	-257	3,261		
平成14年度合計		40	67	37	45	21	4	110	284	-244	3,017		
平成15年度合計		33	38	28	38	4	9	84	201	-168	2,849		
平成16年度合計		65	13	22	18	2	1	45	101	-36	2,813		
平成17年度合計		35	15	16	14	2	3	28	78	-43	2,770		
平成18年度合計		49	8	15	19	6	3	29	80	-31	2,739		
平成19年度合計		51	13	19	20	6	1	20	79	-28	2,711		
平成20年度合計		49	17	17	29	0	4	41	108	-59	2,652		
平成21年度合計		37	11	47	34	3	6	50	151	-114	2,538		
平成22年度合計		23	31	39	33	4	7	52	166	-143	2,395		
平成23年度合計		14	13	45	20	3	3	65	149	-135	2,260		
平成24年度合計		20	9	15	19	2	0	35	80	-60	2,200		
平成25年度合計		13	5	5	13	2	2	15	42	-29	2,171		
平成26年度合計		26	2	6	10	0	0	21	39	-13	2,158		
平成27年度合計		36	0	5	9	0	0	11	25	11	2,169		
平成28年度合計		36	1	6	9	1	0	16	33	3	2,172		
平成29年度合計		56	0	9	7	0	0	11	27	29	2,201		
平成30年度合計		34	2	5	6	0	1	13	27	7	2,208		
令和元年度合計		25	0	10	9	1	0	14	34	-9	2,199		
令和 2 年度	書面 （ 6月 ）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	第 1 回 （7月2日）	15	0	2	1	0	0	3	6	9	2,208		
	第 2 回 （9月15日）	7	0	1	0	0	0	0	1	6	2,214		
	第 3 回 （11月11日）	5	0	2	0	1	0	1	4	1	2,215		
	第 4 回 （2月12日）	4	0	3	4	0	0	2	9	-5	2,210		
	第 5 回 （3月10日）	1	0	0	0	0	0	2	2	-1	2,209		
	年度末処理	0	0	4	1	0	0	7	12	-12	2,197		
	2年度計	32	0	12	6	1	0	15	34	-2	2,197		
累 計		1,036	499	673	530	126	79	1,153	3,060	-2,024	2,197		

1. 転・廃業内訳	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	転業 0社	転業 0社	転業 1社	転業 1社	転業 0社
	廃業 6社	廃業 9社	廃業 4社	廃業 9社	廃業 12社

2. グレード別取消内訳	S	H	M	R	J	未	合計
平成28年度	0	2	1	8	0	22	33
平成29年度	0	1	4	4	1	17	27
平成30年度	0	1	2	11	0	13	27
令和元年度	0	1	3	13	0	17	34
令和2年度	0	0	14	7	0	13	34

構成員登録社数・増減一覽表

(R3. 3. 11～R3. 3. 31)

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回
近畿	滋賀	31			0	31
	京都	48			0	48
	大阪	115		1	-1	114
	兵庫	75			0	75
	奈良	37			0	37
中国	和歌山	37			0	37
	鳥取	14			0	14
	島根	23			0	23
	岡山	36			0	36
	広島	78			0	78
四国	山口	39		1	-1	38
	徳島	25			0	25
	香川	45			0	45
	愛媛	41			0	41
	高知	23			0	23
九州	福岡	54			0	54
	佐賀	24			0	24
	長崎	19			0	19
	熊本	22			0	22
	大分	20			0	20
北海道	宮崎	25			0	25
	鹿児島	30			0	30
	沖縄	16			0	16
合 計		2,209	0	12	-12	2,197

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回
北海道	北海道	74		1	-1	73
	青森	36			0	36
	岩手	31			0	31
	宮城	41			0	41
	秋田	23			0	23
東北	山形	26			0	26
	福島	61			0	61
	茨城	61		1	-1	60
	栃木	53		2	-2	51
	群馬	65		1	-1	64
関東	埼玉	53			0	53
	千葉	58		1	-1	57
	東京	46			0	46
	神奈川	39			0	39
	新潟	89		1	-1	88
北陸	山梨	31			0	31
	長野	67			0	67
	富山	39			0	39
	石川	34		1	-1	33
	福井	42			0	42
中部	岐阜	74		1	-1	73
	静岡	95			0	95
	愛知	133		1	-1	132
	三重	61			0	61

(12社)

[illegible]

建築着工面積と鉄骨推定所要量推移

(国土交通省建築着工統計速報による)

2021年5月7日作成

年度	月	全建築物		鉄骨造		鉄骨鉄筋造		鉄骨推定重量計	
		面積	前年 同期比	面積	前年 同期比	面積	前年 同期比	トン数	前年 同期比
平成12年度計		194,481	98.7	70,808	104.0	15,305	88.2	7,846,050	102.2
平成13年度計		178,903	91.9	63,529	89.7	13,056	85.3	7,006,500	89.2
平成14年度計		171,031	95.6	61,468	96.8	10,958	83.9	6,694,700	95.5
平成15年度計		176,531	103.2	64,378	104.7	9,402	85.8	6,907,900	103.2
平成16年度計		182,774	103.5	69,927	108.6	6,834	72.7	7,334,400	106.2
平成17年度計		185,648	101.6	69,338	99.2	5,468	80.0	7,207,200	98.3
平成18年度計		187,611	101.1	70,187	101.2	6,317	115.5	7,334,550	101.8
平成19年度計		157,219	83.8	61,466	87.6	5,443	86.2	6,418,750	87.5
平成20年度計		151,394	96.3	56,639	92.1	4,604	84.6	5,894,100	91.8
平成21年度計		113,196	74.8	37,589	66.4	2,937	63.8	3,905,750	66.3
平成22年度計		122,281	108.0	40,478	107.7	2,731	93.0	4,184,350	107.1
平成23年度計		127,294	104.1	41,792	103.2	2,610	95.6	4,309,700	103.0
平成24年度計		135,452	106.4	46,257	110.7	2,677	102.6	4,759,550	110.4
平成25年度計		148,461	109.6	52,350	113.2	3,466	129.5	5,408,300	113.6
平成26年度計		130,791	88.1	48,554	92.7	3,019	87.1	5,006,350	92.6
平成27年度計		129,605	99.1	48,304	99.5	2,909	96.4	4,975,850	99.4
平成28年度計		134,236	103.6	49,957	103.4	2,171	74.6	5,104,250	102.6
平成29年度計		133,028	99.1	50,701	101.5	2,788	128.4	5,209,500	102.1
平成30年度計		131,078	98.5	50,048	98.7	1,464	52.5	5,078,000	97.5
2019年度 (令和元年度)	4月	11,222	95.6	3,919	90.7	200	150.4	401,900	91.6
	5月	10,552	96.7	3,761	88.0	147	89.6	383,450	88.0
	6月	11,812	104.1	4,283	90.9	75	208.3	432,050	91.3
	7月	11,974	100.9	4,756	100.7	131	50.4	482,150	99.3
	8月	11,167	102.4	4,211	96.0	50	166.7	423,600	96.3
	9月	10,316	92.4	3,483	81.9	152	128.8	355,900	82.5
	10月	10,615	91.5	3,679	83.6	110	55.3	373,400	83.0
	11月	10,067	89.9	3,510	85.2	93	113.4	355,650	85.4
	12月	10,356	95.2	4,027	102.6	108	70.6	408,100	102.0
	1月	7,988	82.2	2,661	70.4	107	167.2	271,450	71.2
	2月	9,030	92.2	3,000	79.7	208	156.4	310,400	81.1
	3月	9,837	98.7	3,638	107.5	99	107.6	368,750	107.5
年度計		124,936	95.3	44,928	89.8	1,480	101.1	4,566,800	89.9
2020年度 (令和2年度)	4月	9,992	89.0	3,528	90.0	199	99.5	362,750	90.3
	5月	9,444	89.5	3,520	93.6	276	187.8	365,800	95.4
	6月	9,925	84.0	3,648	85.2	85	113.3	369,050	85.4
	7月	9,701	81.0	3,543	74.5	42	32.1	356,400	73.9
	8月	9,414	84.3	2,914	69.2	54	108.0	294,100	69.4
	9月	10,068	97.6	3,368	96.7	251	165.1	349,350	98.2
	10月	9,613	90.6	3,284	89.3	107	97.3	333,750	89.4
	11月	9,371	93.1	3,000	85.5	286	307.5	314,300	88.4
	12月	9,179	88.6	3,380	83.9	226	209.3	349,300	85.6
	1月	8,377	104.9	3,183	119.6	96	89.7	323,100	119.0
	2月	8,595	95.2	3,083	102.8	198	95.2	318,200	102.5
	3月	10,435	106.1	3,767	103.5	58	58.6	379,600	102.9
年度計		114,114	91.3	40,218	89.5	1,878	126.9	4,115,700	90.1

(単位) 面積 1,000㎡
前年同期比 %(注) 鉄骨推定所要量
鉄骨造 ㎡×100kg
鉄骨鉄筋造 ㎡×50kg

2021(令和3)年度 主要会議日程表

日 月 火 水 木 金 土							日 月 火 水 木 金 土							日 月 火 水 木 金 土							
4	7							10							1						
	3							4							2						
	10							10							9						
	17							17							16						
	24							24							23						
25 26 27 28 29 30							25 26 27 28 29 30 31							30 31							
5	8							11							2						
	1							7							6						
	8							14							13						
	15							13							10						
	22							21							20						
23 24 25 26 27 28 29							29 30 31							28 29 30							
6	9							12							3						
	5							5							6						
	12							18							13						
	19							25							20						
	26							24							21						
27 28 29 30							26 27 28 29 30							27 28 29 30 31							

2021.5.11

現在

□

↓ 夏期・年末年始休日

■

↓ 土日・祝日

◇

↓ 振替休日

◇

↓ 休日出勤

2021.5.11 現在

↓ 土・日・祝日

↓ 夏期・年末年始休日

◇ ↓ 休日出勤

◇ ↓ 振替休日

開催年月日				三役会		理事会		総会		全国理事長会 事務局長会議		委員会		その他		備考	
2021 年 (令和3年)	4 月 9 日	金		12:00						14:00 ※						※全国事務局長会議	
	5 月 20 日	木		10:30		14:00 ※										※決算・事業報告・総会招集	
	6 月 11 日	金		9:00		11:30		15:00								14:00 全鉄評株主総会	
	6 月 23 日	水		14:00													
	6 月 29 日	火		10:30		14:00											
	9 月 21 日	火		14:00													
	9 月 22 日	水												11:00 技術審議会			
	9 月 28 日	火		10:30		14:00											
	10 月 19 日	火		14:30													
	11 月 9 日	火		14:00													
	11 月 16 日	火		10:30		14:00											
	12 月 17 日	金		14:00										18:00 事務局職員との懇談会			
2022 年 (令和4年)	1 月 14 日	金		9:30		12:00			15:00 ※					16:30 新年賀詞交換会		※全国理事長会	
	2 月 8 日	火		14:00													
	2 月 22 日	火		10:30		14:00											
	3 月 8 日	火		14:30													

* *

関連団体	
【青年部会】 総会・全国大会： 2021年 月 日 ()	

その他	

2022(令和4)年度予定	
2022年4月 8日(金)	三役会(12:00) 全国事務局長会議(15:00) 懇親会(16:30)
2022年5月 17日(火)	三役会(14:30)
2022年5月 24日(火)	三役会(10:30) 理事会(14:00)
2022年6月 16日(木)	三役会(9:00) 理事会(11:30) 総会(15:00) 懇親会(17:00) 参考：全鉄評株主総会(14:00)

* = 変更箇所

< 北海道支部 > 状 況 報 告 書

2021年(令和3年) 3月分

(A)

提出日 令和3年4月19日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
支部	道内各支部活動・行事等	北海道支部(鉄骨部会)活動・行事等
道央	9日(火) 三役会、役員会 16日(火) 例会(書面郵送)	11日(木) 第6回 鉄骨部会役員会
函館	30日(火) 支部例会	
室苦小樽	令和2年度受注一覧資料配布	
旭川	8日(月) 営業会議	
北見	23日(火) 委員会	
帯広	25日(木) 例会	
釧路	9日(火) 例会	

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
支部	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
道央	3 ～ 9	1 ～ 3	1 ～ 3	75 ～ 100			○			
函館	3	2 ～ 3	1 ～ 3	50 ～ 80			○			
室苦小樽	3 ～ 10	1 ～ 4	1 ～ 2	100 ～ 110	○					
旭川	8	2 ～ 5		90		○				
北見		1 ～ 4		90 ～ 100			○			
帯広	2 ～ 5	2 ～ 4	1 ～ 4	90		○				
釧路	1	3 ～ 6		40 ～ 90			○			

(C)

支部	現状と今後の状況の見通しについて
道央	・山積み状況は、H・Mグレードはバラつきがあるものの、若干増加傾向にある。R・未認定は変わらず少ない。工場稼働率はHグレードはほぼ90～100%程度で、Mグレードも同様である。R・未認定は75%程度が多くなっている。見積りは「少ない」が54%と一時期の7割から減少している一方、「同じ・多い」の合計が46%に上昇している。鋼材単価が上昇する中で、ゼネコンの受注単価が下落傾向のため、今後の価格交渉を心配する声が多くなっている。 ・共同積算:1-3月 35,905t 平年比89% 前年比75%
函館	・各会員、先月と変わらず稼働率・山積み共に低めで推移している。手持ちに関しては今後の見積も少ないが、新年度着手予定の物件は複数出始めている。価格については大きく変わらない。
室苦小樽	・民間物件の見積りに関しては、3月に入り急に多くなってきたが、(一時的なものかどうかは不明)多くは5月後半から6月製作、7月建方に集中している。役所物件も予算取りのためか、多少出てきている状況。
旭川	・今年は工事数・単価共に低レベルで推移する見通し。
北見	・春先までは仕事はつながりそうだが、夏、秋の物件は乏しく先細りの感がある。また、材料費の高騰により単価の維持に苦慮する物件が多くなってきた。
帯広	・各社でバラつきはあるが受注増。見積り数量も増加傾向ではあるが、単価的には厳しい状況。
釧路	・現在、だいぶ手が空いていて暇な状態にあり、春先の物件の話も少なく先行きが不安。

< 北海道支部 > 状 況 報 告 書

2021年(令和3年) 4月分

(A)

提出日 令和3年5月10日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
支部	道内各支部活動・行事等	北海道支部(鉄骨部会)活動・行事等
道央	7日(火) 三役会、役員会 23日(金) 総会(リアル開催)	22日(木) 第1回 鉄骨部会役員会
函館		
室苦小樽		
旭川	12日(月) 営業会議	
北見	20日(火) 支部総会、委員会	
帯広	16日(金) 支部総会(書面開催)	
釧路	28日(水) 支部総会、ゴルフ⇒延期	

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
支部	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
道央	3 ～ 9	1 ～ 5	2 ～ 3	75 ～ 100		○				
函館	4	2 ～ 4	1 ～ 4	50 ～ 100			○			
室苦小樽	3 ～ 10	1 ～ 6	1 ～ 2	80 ～ 110			○			
旭川	8	2 ～ 4		90		○				
北見		1 ～ 4		90 ～ 100			○			
帯広	2 ～ 6	2 ～ 4	3 ～ 4	100		○				
釧路	4	5 ～ 6		80 ～ 100		○				

(C)

支部	現状と今後の状況の見通しについて
道央	・山積み状況は、H・Mグレードはバラつきがあるものの、引き続き若干の増加傾向にある。R・未認定は大幅に改善している。工場稼働率はHグレードはほぼ90～100%程度で、Mグレードも同様で変わらず。R・未認定は90%程度が増加している。見積りは「同じ・多い」の合計が58%になり、これまでの「少ない」との回答を逆転した。ゼネコンの指値が厳しくなっている中で、鋼材価格を含めた関連製品価格が上昇しており、今後の価格交渉を心配する声が多い。 ・共同積算:1～4月 45,367t 平年比86% 前年比70%
函館	・各社バラつきはあるが、稼働率・山積み共に上がってきている様子。規模的に大きくはないが、今後着工予定の見積りも複数出てきている。価格については大きく変わらない。
室苦小樽	・見積りは全体的に少なくなってきており、(大型物件は出ているが、積算対応が出来なくなっている)資材費の値上げの他、ゼネコンの指値も厳しくなってきており、今後も厳しい状況が続くと思われる。
旭川	・夏場に向かって、稼働率は上がってきた。
北見	・中小物件が夏場位まで続きそう。また、材料費の高騰により、単価の維持に苦慮する物件が多くなっている。
帯広	・例年より、見積り・手持ち共に少なく、鋼材価格の高騰に伴い、受注価格は更に厳しい状況となっている。
釧路	・4月に入ってから徐々に動き出してきた。新型コロナウイルスの影響で入札関係が遅れる可能性もあったが、昨年より早めに入札が行われる予定。民間工事も規模は大きくないが、見積りの引き合いも増えてきている。

＜東北支部＞ 状 況 報 告 書

2021 年（令和 3 年）3 月分

(A)

提出日 令和 3 年 4 月 1 日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	東北支部活動・行事等
青森県	○3/9 積算業務担当者会議 ○3/23 3 月期役員会議 ○3/26 青年部役員会（リモート）	○3/16 東北鉄構連積算業務委員会（WEB）
岩手県	○3/3 見積条件書・工程管理表・原価早わかりシートについての研修会 ○3/10 県南支部会 ○3/16 盛岡支部会 ○3/18 理事会 ○3/23 広報委員会 ○3/25 令和 3 年度前期性能評価申請書記入説明会	
宮城県	○3/5 営業担当者会議、溶接ヒューム規制に関する説明会 役員会 ○3/24 青年部役員会	
秋田県	○3/17 役員会 ○3/18 営業担当者会議 ○3/25 代表者会議	
山形県	○3/18 営業実務者会議 ○3/26 三役会、役員及び置賜支部合同会議 ○3/30 青年部役員会（リモート）	
福島県	○3/4 青年部役員会 ○3/10 原価管理実践講習会、溶接ヒュームの特定化学物質指定に係る研修会 ○3/12 性能評価工場審査（1 社） ○3/24 第 2 回営業責任者会議	

(B)

①手持ち工事量（ヵ月）				②稼働率（%）	③見積物件の傾向			④工場加工費（千円）		
都道府県	H	M	R・J	稼働率（%）	多い	普通	少ない	S 造 (H+H)	S 造 (コラム H)	SRC 造
青森県	3～10	2～9	1～3	60 ～ 110		○				
岩手県	4～6	2～6	1～2	60 ～ 100		○				
宮城県	6～12	2～5	1～3	40 ～ 100		○				
秋田県	5～7	2～3	1.5～3	30 ～ 100		○				
山形県	3～8	1～7	1～4	70 ～ 100		○				
福島県	6～6	1～12	0～9	30 ～ 120			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
青森県	全体的に前月から変わらず低調に推移。厳しい指値に見積物件を断るケースも結構あり、組合員同士、受注価格には注意しているとのこと。需要の回復にはまだ時間がかかる様子。
岩手県	工場加工費、工場稼働率ともに横ばいだが、手持ち工事量が若干低下した。見積物件数が増加し 2 年前の水準まで回復し今後に期待したい。引き続き仲間意識を持ち、仕事のシェアを呼び掛けている。
宮城県	年末からの材料価格高騰分の受注単価への反映が厳しい状況。見積もり件数は少しずつ出回り始めた模様なので春先以降の物件動向に期待。
秋田県	手持ち工事量、稼働率、価格は大きな変動はない。鋼材によっては入荷状況が悪い物もある。
山形県	前月同様物件数少ない。受注単価は相変わらず厳しい状況であるので、情報共有を密に進めていきたい。
福島県	最近になって引き合いが増え、受注物件が重なりつつあるという声が多くなっているようです。しかし、まだ価格が回復せず、鋼材費上昇問題、顧客とのコミュニケーション不足に伴う製作遅延や経費負担増といった懸念事項もあります。今後も同業者同士、良い情報を共有していければ良い方向に向かうのではないかと思います。

＜東北支部＞ 状 況 報 告 書

2021 年（令和 3 年）4 月分

(A)

提出日 令和 3 年 5 月 6 日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	東北支部活動・行事等
青森県	○4/13(火) 会計監事会 ○4/27(火) 積算業務担当者会議 「溶接ヒューム」規制に関する研修会	○4/13 東北鉄構連積算業務委員会（WEB） ○4/21 東北鉄構工業連合会役員会（盛岡）
岩手県	○4/12 監査 ○4/14 県南支部会 ○4/19 盛岡支部会 ○4/23 青年部役員会 ○4/26 理事会	
宮城県		
秋田県	○4/15 性能評価技術委員会 ○4/20 営業担当者会議	
山形県	○4/15 監事会 ○4/20 三役会、役員会	
福島県	○4/15 第 1 回青年部役員会 ○4/23 第 1 回理事会	
	○4/21～22 建築鉄骨製品検査技術者学科講習会	

(B)

①手持ち工事量（ヵ月）				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費（千円）		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S 造 (H+H)	S 造 (コラム H)	SRC 造
青森県	3～12	3～8	1～4	60 ～ 110			○			
岩手県	5～8	2～5	1～2	60 ～ 100		○				
宮城県	6～11	2～6	1～3	40 ～ 100			○			
秋田県	5～6	2～6	2～4	60 ～ 100		○				
山形県	7～9	1～7	1～4	80 ～ 100			○			
福島県	5～6	1～12	0～8	20 ～ 120		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
青森県	工場稼働率・手持ち工事量は横ばい。見積物件数も低調ではあるが、以前と比べると若干地元物件に動きが出てきているので、価格交渉には注意するよう呼び掛け合っている。
岩手県	工場加工費、工場稼働率、手持ち工事量ともに横ばいながら、先月増加した見積物件数は若干減少したもの以前に比べれば改善しており今後に期待したい。県内の大型物件が本格的に動き出すことが決まり明るいニュースではあるが、今後型枠大工、とび等専門工事業者の不足が、その他の物件に影響を与える可能性が高く懸念の声が聞かれている。
宮城県	今月に入り見積もり件数は再び減少傾向に。地元ゼネコンの仕事量が少なく、M・R クラスの地元案件は厳しい指値が続く。先行き不透明。
秋田県	前月に比べ見積もり物件数が若干増えてきた。しかしながら単価が下がり傾向にあるのと、鋼材の入手状況が悪い事が懸念される。
山形県	県内見積物件数は、相変わらず少なく厳しい状況が続いている。 工事量については 7 月から 9 月頃までは確保されているが、この先不透明である
福島県	材料・資材のさらなる値上げアナウンスが出始めてきました。しかし、その価格上昇分の転嫁が認めていただけないことや、他地域の極端な安値の情報が独り歩きしており、各社、疑心暗鬼になっているかもしれません。精度の高い情報の交換・共有を推し進めて、適正な利益を確保できるよう、次世代が入ってきやすい環境にしていきたいと思います。

< 関東支部 > 状況報告書

2021年(令和3年) 3月分

提出日 令和3年4月6日

(A)

都道府県	①全構協推進事業の現状	②支部活動状況
東京都	17日 理事会、27日 東構塾、31日 三役会	3/22 第5回関東支部運営委員会 (メトロポリタン高崎)
千葉県	18日(木)三役・支部長会 性能評価:3社	
神奈川県	11日「工程管理表」「見積条件書」「原価管理」講習会、25日 理事会	3/30 第5回関東支部会 (メトロポリタン高崎)
茨城県	6、7日 UT一次学科講習会(レベル2) 11日 中央会事務局支援セミナー 17日 青年部会役員会	
埼玉県	3日(水)総務委員会、鉄友 in SAITAMA vol.7 YouTube公開 10日(水)組合理事会 15日(月)PAWG(フェイストアレイ実証実験) 22日(月)PAWG(フェイストアレイ実証実験) 24日(水)見積条件・工程管理講習会、原価管理実践講習会	27、28日 ガス溶接技能講習 その他サポート4社、技能実習企業監査等
栃木県	2/4 定例理事会(リモート開催)、2/5 青年部役員会、 2/12 溶接ヒュームの特化則改正説明会	
群馬県	3/9 溶接ヒューム講習会、見積条件・工程管理・仮設金物原価算出シート講習会 3/25正副理事長会議・役員会(WEB)	
長野県	10日 第1回青年部役員会 11日 第3回技術委員会	18日 第3回運営委員会 25日 第5回常任理事会
山梨県	10日 理事会 13日 溶接JIS検定 23日 青年部会 24日 溶接安全委員会 26日 経営近代化委員会	令和3年度上期工場審査説明会 (R2社、M2社) <教育> ・ガス溶接技能講習 4.5日 ・高校教員向け溶接実技研修会 6日
新潟県	3/12 第2回技術委員会 3/24 第2回経近委員会	3/26 第2回総務委員会 3/30 工場審査説明会

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
東京都	5~12	1~6	1~3	70		○				
千葉県	3.0	1~7	3.0	10~120			○			
神奈川県	4~12	1~6	3.0	50~120		○				
茨城県	9	3~6	2	70~90		○				
埼玉県	3~10	2~16	1~5	30~100		○				
栃木県	6~10	2~8	1~4	70~100		○				
群馬県	4~8	3~6	1~3	60~110		○				
長野県	4~8	1~12	0~4	0~110		○				
山梨県	7~12	0.5~18	2~3	60~100			○			
新潟県	8~12	3~6	2~3	75~100		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
東京都	仕事量に会社間の格差が更に拡大し二極化しており、ファブ間での連携、協合を行うことで社外協力する企業が増えている。また、見積り依頼が増えている企業もあるが、鋼材価格が小幅ながら値上げが進む中でゼネコン等からの価格押下げ圧力があり、加工費を圧迫しつつある。
千葉県	材料の値上がりがある。各社の手持量の情報が知りたい。夏以降の仕事量が単価は安いが増。仕事量が薄いので受注単価が厳しい。適正単価で受注出来るようにする。日本製鉄の高炉休止など変化が大きい中、厳しい時代が来るのを感じる。
神奈川県	グレードに関係なく山積が低い状況。M,Rグレードでは仲間うちでの手伝いや現場中心の物件で安い状況が多い模様です。夏場以降の見積が増えてきたとの話を聞くようになってきたが、鋼材価格の値上がりでタイト感が一層強まってきたので受注環境は悪化している様子。
茨城県	来年の建方物件の引合は増えていますが、大型物件では競争により安値受注が散見され価格の回復には時間がかかりそうです。
埼玉県	3月22日、当県でも延長していた緊急事態宣言が解除されたのと、ワクチン接種が始まるとのことで市場マインドも好転だし、組合員の中には中断物件の再開や仕事の依頼も増えてきた。ただ、全国的には感染拡大が収まらない報道が続いているので、このまま好転するのか予断を許さない。
栃木県	・鋼材価格の上昇がいつまで続くか不安(高炉休止等)。・現場で溶接ヒュームに関しての問い合わせが増えてきた。 ・ゼネコンの安い指値に対し「これでは出来ない」とし、受注単価をこれ以上、下落させないようにという動きも出てきている。
群馬県	秋口からの大規模な案件はあるが、100t以下の案件は少ないようだ。また先月より見積数が増えてきたが、安値物件が多く受注するかどうか検討が必要である。
長野県	手持工事量、稼働率の二極化は変わらないが、若干、見積件数が増えた感じがあるとの声も聞かれる。一方、鋼材価格の上昇を単価に反映できるかどうか予定がつかない事、先の見通しが立たないとの声もある。夏以降の見積り増加に期待。
山梨県	鋼材の高騰に加え、溶接材料も価格上昇の見込み。
新潟県	組合員間で手持ち工事量・稼働率に格差が生じ二極化がはっきりしてきた。受注価格に関しては全グレードとも下落傾向。コロナの早い収束と、それによる秋以降からの仕事量の増加に期待する。

< 関東支部 > 状 況 報 告 書

2021年(令和3年) 4月分

(A)

提出日 令和3年5月11日

都道府県	①全構協推進事業の現状	②支部活動状況
東京都	21日 理事会、Mグレード部会	関東支部活動・行事等 4/20 関東支部運営委員会(WEB) 4/27 関東支部会(WEB)
千葉県	1日(木)全国Mグレード部会総会 8日(木)南部支部会 9日(金)認定説明会(M) 14日(水)認定説明会(R)、西部支部会 15日(木)全国Mグレード部会 22日(木)三役・支部長会、理事会	
神奈川県	13日 日本溶接構造専門学校で鉄骨加工業概論の授業開始、 15日 会計監査・事業運営委員会、19日 性能評価工場審査に係る事前指導、 22日 理事会 性能評価工場審査 6件	
茨城県	23日 第1回理事会 23、24日 特化則技能講習73名取得	
埼玉県	2日 性能評価研修会 7日 総務委員会 13日 組合理事会 17日 第31回青年部会総会 20日 組合会計監査	
栃木県	4/7 性能評価審査(1社)、4/8 運営委員会、4/14 性能評価審査(1社) 4/15 定例理事会(対面式)、4/23 青年部役員会	
群馬県	16日 組合監査、21日 青年部役員会、25日 正副理事長会議・役員会(WEB)、 工場審査(2社)	
長野県	8日:組合監査 13日:青年部役員会、監査 15日:理事会 Mグレード部会監査	
山梨県	9日 理事会 10日 溶接JIS検定 20日 会計監査 23日 青年部会 26日 経営近代化委員会	
新潟県	4/16 正副理事長会議、4/22 第1回理事会 4/01 工場審査説明会、4/21、28 令和2年度後期の工場審査(延期工場 2工場)	
	21日 決算総務委員会、県西支部会 25日 県北支部総会及びゴルフコンペ 27日 県東支部会 28日 決算理事会、県南支部会 4月 工場審査延期分2件	
	21日:工場審査(R2年度後期延期分) 22日:Mグレード部会幹事会 26.27日:技術委員会	
	[若年人材育成事業] 16日 オリエンテーション 労働安全、リスクアセスメント 21~22日 加工技術修得 23日 機器の保安全管理	

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
東京都	6~12	1~6	1~2	70		○				
千葉県	3~12	1~6	3~5	20~100		○				
神奈川県	4.5~11	1~7	3.0	50~120		○				
茨城県	10	4~6	2	70~90		○				
埼玉県	4~10	3~16	1~5	20~100		○				
栃木県	7~8	2~8	2~6	70~100		○				
群馬県	6~12	5~6	1~4	50~100		○				
長野県	4~8	1~12	1	10~110		○				
山梨県	8~12	1~16	2~3	70~110			○			
新潟県	8~12	3~6	2~3	75~100		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
東京都	中小案件が減少して仕事量の会社間格差が拡大傾向にあり、二極化がより進んだ感がある。ファブ同士で社外協力を行うも厳しい状況が続いている。また、見積り依頼が増えている企業もあるが、値上がりした鋼材価格と加工費の圧迫から採算割れに繋がる懸念も出てきた。
千葉県	鋼材費が上昇している。鋼材単価が上がっているため、見積り注意。4月は仕事量がかかなり薄かったが、月末から増え始めている。各社7月~9月頃までの受注状況はどうなっているのか? 仕事は増えてきているが値段は安い。工事単価が下がってきている。
神奈川県	原材料の高騰で全品種の値上げ要請とタイト感が増してきた。一方で厳しい指し値が横行し、板挟みの厳しい局面だと言える。見積に関しては夏場以降の中小案件が増えてきた様子である。山積みも二極化が顕著に表れており、仲間内でのやりとりで凌ぐ会員もあり。国からの助成金で凌ぐような会員は見受けられない。
茨城県	・見積りははじめてきましたが、ゼネコンの指値が厳しい。材料が上がってきているので、少しでも単価に上乗せして受注していきたい。 ・鋼材問屋も高もトラック業社も、みな仕事簿の話をしています。相変わらず地場ゼネコンからの依頼はなく、かといって大型物件も見積もりはするものの決まりません。安値受注はしたくありませんがコロナも含め我慢の継続疲れてきそうです。 ・出件数の低下による加工単価が低いままの状況は続いています。材料高、加工費安にて厳しい環境です。
埼玉県	3月22日延長していた緊急事態宣言が解除されたのもつかの間、ここ埼玉県でもまん延防止等重点措置が発出され、見通しが立たない様相となっている。頼みのワクチン接種は開始されたが、接種対象者の組合員によると未だ予約を取れない状況とのこと。これらの事から市場マインドは悪化の方向へ向かっているようで、物件によっては延期の話が再度出た。また、材料価格が上昇しており、従来であれば受注価格の上昇に結びつけられたが、現状は発注者の指値もあり、その話すらできない状況となっている。
栃木県	・鋼材、溶材価格の上昇による加工費を圧迫している。 ・見積件数は徐々に回復しつつあるがまだまだ格差は大きい。
群馬県	手持工事量は二極化している。鋼材が値上げしている中、一部の鋼材の納期が厳しくなっている。またHTBの納期がのび、厳しくなるとの情報もある。
長野県	先行き不透明の企業もあるが、なんとなく来夏まで見えてきたという企業も。無理な値段での受注は控え、多少難度高くても単価重視を維持する動きがある。鋼材価格の上昇に続き、溶接材料も高騰するが、受注単価には転嫁できないだろうとの予測。
山梨県	鋼材価格の上昇が不可避な状態でもた納期も長い。また図面承認にも時間がかかっている状況である。
新潟県	組合員間で手持ち工事量・稼働率に格差が生じ、二極化がはつきりしてきた。受注価格に関しては、全グレードとも下落傾向。鋼材価格の値上げの情報もあり利益率の圧迫が心配される。

《 北陸支部 》 状 況 報 告 書

2021年（令和 3 年） 3月分

(A)

提出日：2021 年 4 月 2 日

① 全構協推進事業の現状		② 支部活動状況
県 名	各県組合活動・行事等	北陸支部活動・行事等
富山県	9日(火) 中央会・SDGs実践による経営研修会 12日(金) 青年部会・第7回役員会 15日(月) 富山県中小企業青年中央会・研修会 18日(木) 中央会・組合会計税務研修会	12日(金) 全構協運営委員会(WEB会議) 18日(金) 全構協第5回理事会(WEB会議)
石川県	25日(木) 第7回三役会、第6回理事会	
福井県	5日(金) 共同受注委員会 11日(木) 定例三役会・理事会 17日(水) 認定部会役員会・例会 「認定工場審査対応講習会」 25日(木) 総務委員会	

(B)

県 名	①受注物件 件数(ヵ月)			②稼働率 (%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(単位:千円)		
	H	M	R・J		多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
富山県	6 ～ 10	2 ～ 6	1 ～ 3	50 ～ 100		○				
石川県	3 ～ 11	1 ～ 3	1 ～	60 ～ 100			○			
福井県	2 ～ 8	2 ～ 4	1 ～	50 ～ 100			○			

(C)

現状と今後の状況の見通しについて	
県 名	見 通 し ・ 意 見 ～ 提 案
富山県	大手ファブは半年以上の仕事にめどはたっており、GCの指値が厳しくなっているが、見積が増えていることもありこの前半が正念場であると思われる。中小ファブは材料費の急激な上昇、GCの安い指値、工場の稼働率など考えながらの厳しい選択が迫られている。中小ファブより「外国人特定技能1号」の受け入れ対象職種に、国交省示す「建設業の溶接」が含まれておらず、全構協で早急に対応を考えて行動してほしいとの要望があった。
石川県	企業間差はあるものの、4月頃まで仕事は薄い様だが、5～6月以降は仕事が入っている状況。依然として案件が少ないため、ゼネコンの過当競争による価格の下押しが強いが、鋼材価格が上昇している局面であり、採算重視での受注が益々大切になる。まだらではあるが、夏以降の物件も出始めているので、安易な安値受注に走らないよう会員間の情報交換とつながりを一層強固にすることが重要だと思う。
福井県	・年度末を迎えたが官公庁物件でさえ発注工事は増えていない。数少ない県内工事に対してGCが低価格落札に走るため、ファブは鉄骨受注単価確保に腐心している。GCは自社利益を確保せんがため、適正価格の鉄骨工事見積書を攻撃的(高すぎるとの声)にしている感が強い。今こそしっかりした原価管理が必要な時である。

《 北陸支部 》 状 況 報 告 書

2021年（令和 3 年） 4 月分

(A)

提出日:2021 年 5 月 6 日

① 全構協推進事業の現状		② 支部活動状況
県 名	各県組合活動・行事等	北陸支部活動・行事等
富山県	5日(月) 建専協・全体会議 12日(月) 技術・品質サポート(Rグレード1社) 14日(水) 技術・品質サポート(Mグレード1社) 全青会3地区会長(中地区)ウェブ会議 20日(火) 組合会計監査 22日(木) 第1回正副理事長会・第1回理事会 28日(水) 青年部会・技術委員会研修会	9日(金) 全構協全国事務局長会議(WEB併用) 14日(水) 全青会 全国部会長会議(WEB会議)
石川県	8日(木) 組合会計監査、 13日(火) 第1回三役会、第1回理事会、 23日(金) 第1回青年部役員会	
福井県	1日(木) 認定部会会計監査 8日(木) 定例三役会・役員会 13日(火) 青年部会会計監査 23日(金) 認定部会通常総会(書面議決)	

(B)

県 名	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率 (%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(単位:千円)		
	H	M	R・J		多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
富山県	6 ~ 10	3 ~ 5	1 ~ 2	70 ~ 100	○					
石川県	4 ~ 11	2 ~ 4	1 ~ 2	60 ~ 100			○			
福井県	2 ~ 12	1 ~ 4	1 ~	30 ~ 110			○			

(C)

現状と今後の状況の見通しについて	
県 名	見 通 し ・ 意 見 ~ 提 案
富山県	首都圏、関西圏などの仕事が主体の大手ファブは、見積りや引き合いは多く、具体的に仕事を誓約していないファブもあるが、秋以降は間違いなく仕事は出ると予想され焦りは感じられない。中小ファブは地場物件の低迷が長引いていることと、ゼネコンが過当競争しており、また一部鋼材問屋が安価で受注している影響もありさえない状況である。一方見積りは増えて積算は忙しく、物件の見積りが重複している可能性もあるが、この先は少し明るさが見えて来た様に感じられる。この数ヶ月間が我慢のしどころであり、鋼材、副資材、輸送費なども上昇しており、ゼネコンに感わされることなく安値受注は絶対にしてはならない。
石川県	4月に入り物件も多少出てきて、企業間差はあるものの夏から秋にかけての仕事量を確保している様子。ゼネコンの過当競争と隣県からの安値受注で適正価格を維持するのがますます難しい状況ではあるが、会員間の情報交換と採算重視での受注で安値受注に走らないよう呼びかけている。
福井県	・新年度を迎えたが見積物件数は極めて少なく、県内の中小物件はほとんど皆無。数少ない大規模物件に多くのGCが入札参加してタタキ合い状態が見られる。必然的に鉄骨工事の指値は益々厳しくなり、受注を断れば商社へ流れて一層安値になっている。 ・RJグレードをはじめMグレードでも受注残がほとんどないファブが出てきている。やむなく安値受注に走るファブもあって今後の相場ダウンが懸念される。「安値受注の排除」との掛け声は正しいが、発注総量が激減している中で経営の苦しい個々のファブにまでこれと呼びかけることは難しいのが現状である。

＜ 中部支部 ＞ 状 況 報 告 書

2021年(令和3年) 3月分

(A)			提出日 2021年(令和3年)5月11日	
①全構協推進事業の現状			②支部活動状況	
都道府県	各県組合活動・行事等		中部支部活動・行事等	
岐阜県	26 日 (金) 理事会 30 日 (火) 性能評価説明会		12 日 (金) 全構協:運営委員会 出席 18 日 (木) 全構協:理事会 出席 31 日 (水) 中部支部会	
静岡県	24 日 (水) 三役会			
愛知県	9 日 (火) 理事会 16 日 (火) H部会 24 日 (水) 建築士事務所協会:理事会 出席 26 日 (金) 性能評価説明会			
三重県	29 日 (月) 理事会			

(B)										
①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
岐阜県	3～6	2～6	0～5	50 ～ 120		○				
静岡県	4～10	1～6	1～5	50 ～ 100			○			
愛知県	6～12	1～9	1～4	50 ～ 100		○				
三重県	8～12	1～10	1～10	30 ～ 125	○					

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
岐阜県	・受注価格は相変わらず下がる傾向にある。 ・年度末の影響もあり、R/Jグレードの手持ち工事量が少ない。 ・溶接ヒュームの法令改正により、工場内の環境や仕事のやり方など大きく変わることになり、対応を考える必要がある。 ・鋼材費の値上がりが不安。 ・見積もりは多いが秋以降か？ 時期的なことがわからない。
静岡県	・地元でも、商社以外からも安値情報を耳にするようになってきた。鋼材価格は供給側の事情で値上がりし、現在は、様子見の状況だが、更なる値上げを伺っている様子も有る。新規工事の受注へ向けての環境が非常に厳しい。価格的には、当面好転は難しい状況かと思われる。 ・鋼材費、副資材の値上げが続いているため、見積もりに反映しているが、加工費の相場が下がっているのが厳しい状況である。 ・仕事量が少なく、値崩れが起きている。過去の経験を活かし、組合全体で適正価格での受注を呼びかけてほしい。 ・物件の動きがかなり悪くなっている。予定していた時期がずれる案件が多いので、工場の調整に苦労している日々である。 ・価格等は、仕入れ材料の単価は上がっているが、加工賃自体は下がる傾向にある。また、建物の用途が、老人ホーム、スーパー、ドラッグストア、物流倉庫などに偏っている。今年1年の我慢の年になるか？
愛知県	・受注量が減っているため、加工単価も値下がり傾向が見受けらる。 ・秋以降は工事量も復活していくと思われるが、二極化は益々はっきりしていくと思う。 ・鋼材価格上昇分以上に加工費の下落が激しい。 ・直近の仕事は同業者から回してもらい何とか工場が止まらずに動いている。 ・鋼材、副資材の価格が軒並み値上げしている。 ・コラムが夏以降品薄になりそうである。 ・できるだけ会合の機会を作って、情報交換の場を増やすことが必要だと思う。
三重県	・Hグレードが手掛ける大型案件は出ている感があるが、M、R、Jグレードが手掛けるような案件は少なく、材料費だけは上がって加工単価の圧迫になっている。 ・今まででもそうですが、元請さんの承認が遅く、加工が遅れ過度な残業をせざるを得なくなり、次の物件に影響が出ている。

＜ 中部支部 ＞ 状 況 報 告 書

2021年(令和3年) 4月分

(A)

提出日 2021年(令和3年)5月11日

①全構協推進事業の現状			②支部活動状況	
都道府県	各県組合活動・行事等		中部支部活動・行事等	
岐阜県	21 日 (水)	理事会	9 日 (金) 全構協:事務局長会議 出席 24 日 (土) 青年部:中部ブロック会議	
静岡県	21 日 (水)	役員会		
愛知県	13 日 (火)	会計監査・理事会 性能評価工場審査 11件		
三重県	27 日 (火)	理事会 後期性能評価工場審査 7社 性能評価サポート 8回		

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
岐阜県	3～8	1～8	1～4	50 ～ 120		○				
静岡県	3～10	1～6	0～5	50 ～ 100			○			
愛知県	7～16	1～9	1～3	40 ～ 150		○				
三重県	9～10	1～10	3～5	40 ～ 100		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
岐阜県	・受注価格は相変わらず低い傾向にある。また、稼働率が低くなりつつある。 ・仕事は安定せず、単価先行き、弱含みの公算が大きい。 ・材料が値上がりしており、板やコラムがタイトである。SH・HYの納期に時間がかかる。 ・鋼材の値上がりで先行き受注が不安。 ・コロナの影響で先行きが厳しい。 ・年明け以降材料が3割近く上がり異常な状況になっている。 ・需要回復の兆しは見えず、厳しい状況が続くと思われます。
静岡県	・秋口より仕事量も増えてくる話もあったが、現状では情報薄く不透明。県内物件は、直近が薄いため、工場が手空きになっている会社も出てきているのが実情。年内の見通しは、仕事量は勿論、受注金額も厳しい状況は続きそう。市場に物量が増えてこない限り、根戻しは期待できそうもない。 ・全体の工事量が少ないため単価を下げざるをえない傾向にある。材料・溶接材料の値上げでさらに厳しい状況にある。 ・工事物件引き合いが他社との競合で、内定物件であっても最終的に潜られてしまい、失注する。見積量は、まだ少ない状況でしばらくは辛抱の時期が続く。夏以降の動きが良くなる話を聞くが疑問に思う。 ・材料の値段が高騰してきているので単価を上げたいが、今後の仕事量を踏まえて考えていく。
愛知県	・来年は大型物件に関しては多く出てくるとは思われますが、中小物件は少ないように感じます。 ・受注の決定が遅く、不安定な状態が続いている。 ・秋以降、仕事は出ると思いますが、価格は厳しい環境になると思われます。 ・今後、コロナの影響がどこまで続くか心配です。 ・原価管理の徹底を呼びかけることが必要だと思えます。
三重県	・コロナ渦中が延びて感染拡大の影響で先行き不透明です。 ・材料費の高騰で加工賃が下がってます。 ・加工単価交渉が非常に厳しい。ファブに押し付けられている感は否めない。今が底値か下げ止まり傾向感がある。 ・今まで物件数が少なく加工費も低迷していましたが、4月頃を境に増えてきていると思います。ただ、単価に関しては相変わらず安値が続いています。 ・見積もりは増えてきていますが、単価は厳しい状況です。安値で受注される物件も多いように思います。

< 全構協近畿支部 > 状 況 報 告 書

2021年(令和3年3月分)

(A)

提出日 令和 3年4月6日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	近畿支部活動・行事等
滋賀県	・3/1 正・副理事長会 ・3/24 性能評価申請説明会	<< 会 議 >> ・近畿支部会 3月25日(金) 14:00 ~ 16:10 神戸国際会館 会議室 ・近畿事務局長会議 3月25日(金) 13:00 ~ 13:40 神戸国際会館 会議室
京都府	・3/12 四役会 ・3/23 工程管理表・見積条件書講習会 ・3/23 役員会 ・3/27 ローバル工法講習会 ・3/31 工場審査 1社	
大阪府	・3/3 技術委員会 ・3/4運営共済事業委員会 ・3/10 定例理事会 ・3/19 南大阪支部会 ・3/24 北大阪支部会、市内支部会 ・3/26 東大阪支部会	
兵庫県	・3/5 四役会 ・3/17 教育技術委員会 ・3/19 運営委員会 ・3/26 四役会、理事役員会	
奈良県	・3/23 三役会・理事会 ・3/26 工場認定一社	
和歌山県	・3/26 令和3年度前期工場審査勉強会	

(B)

①受注物件件数(ヵ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
滋賀県	4 ~ 12	1 ~ 5	1 ~ 3	60 ~ 100			○			
京都府	4 ~ 6	~ 3	2 ~ 6	60 ~ 100			○			
大阪府	5 ~ 13	2 ~ 6	1 ~ 3	60 ~ 100			○			
兵庫県	6 ~ 12	1 ~ 4	1 ~ 2	60 ~ 100			○			
奈良県	~	2 ~ 6	2 ~ 3	60 ~ 100		○				
和歌山県	5 ~ 12	2 ~ 4	1 ~ 3	40 ~ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
滋賀県	鋼材の価格の高騰にGC指値価格の下落が見られる。鋼材費とその他の加工費・現場費・運送費など仕分けし、原価と利益の把握が求められる。また鋼材の入手も次第に困難になっており、メーカーによるロールの先送り、HTBの納期延長も見られるようになってきた。今一度買い先への情報収集をし見直していきたい。足元の山積み不足している状況ではあるが先を見据え安価な指値には冷静に対処する必要がある。
京都府	少しずつではあるが見積物件は出て来ている。夏場に向けて動きがあるか不安である。少し暇になりそう。4・5月は工場の耐震補強等の難工事あり、6月から秋にかけてS造の工場加工の予定あり。鋼材価格の上昇も今後の見積価格に影響しそうである。鋼材、副資材の値上げの申し入れが増え、逆に受注単価の指値は厳しさが増している。採算を注視しネゴをしていかなければならない。数少ない見積を商社が安値で入れるため受注できない。この先赤字覚悟で入れないとだめなのか。
大阪府	昨年から言われていた通り、今年の前期は物件量が少ないまま。民間物件の動きは悪く、4月以降役所物件入札が出てくるが数量は少なく、まだ先は見えない状況。鉄と名の付くものは値段が上昇している。受注単価は横ばいもしくは下降傾向であるが、とにかく仕事を確保するのが先決といった動きが見受けられる。コロナの新規感染者がまたもや増加傾向にあり、春から夏以降の市況が心配だ。
兵庫県	中小の物件が少なくM、Rグレードとも仕事量が減少傾向になっている。鋼材費も高止まりで工場加工費を圧迫している。GCの指値も厳しさを増していき増々加工費を押し下げている。安値のウワサが出始めると一人歩きしてしまうので、ふんばりどころだ。
奈良県	・現在は、仕事量が確保出来ていますが、夏以降の動向が心配。材料の高騰にも注意して行きたい。 ・見積もり物件は有りますが、交渉段階になっても、単価が安い状況だと感じます。 ・工事が決まっても、延びてゆっくり。春～夏にかけ見積が増すも、同じく、鋼材の上昇に注意が必要。
和歌山県	見積りは少し増えてきているイメージはあるが、まだまだ少ないと考える。 大型案件が動き出しているが、中小の物件が少ないのでMグレード以下の工場の稼働率が上がって来ない。先行きが不安なところに日本製鉄の高炉閉鎖の発表、これが今後の景気に水を差さなければ良いが。

＜ 全構協近畿支部 ＞ 状 況 報 告 書

2021年(令和3年 4月分)

(A)

提出日 令和 3年5月11日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	近畿支部活動・行事等
滋賀県	・4/14 理事会、三役会、認定工場部会 ・4/20 監査 ・工場審査 2社	
京都府	・4/2.4/10.4/12 工場審査 3社 ・4/9 全国事務局長リモート会議 ・4/19 監査 ・4/19 理事役員会リモート併用	
大阪府	・4/1.2 性能評価説明会 ・4/12.16 サポート 2社 ・4/6.7.14.20.22.23 工場審査 9社	
兵庫県	・4/6 性能評価説明会 ・4/23 監査 ・4/23 理事役員会 ・4月 サポート 4社、工場審査 6社	
奈良県	4/9 Online会議視聴 4/12 工場審査1社 4/20 共済・経近 4/21 工場審査1社 4/22 三役会・理事会	
和歌山県	・4/5 近代化委員会 ・4/9 事務局長会議(オンラインIVE視聴) ・4/23 性能評価審査 1社	

(B)

①受注物件件数(ヵ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
滋賀県	6 ~ 12	3 ~ 6	1 ~ 4	60 ~ 100		○				
京都府	5 ~ 12	1 ~ 6	1 ~ 5	30 ~ 120		○				
大阪府	5 ~ 12	1 ~ 6	1 ~ 3	50 ~ 100			○			
兵庫県	6 ~ 12	1 ~ 4	1 ~ 2	60 ~ 100		○				
奈良県	~	3 ~ 8	2 ~ 3	50 ~ 100		○				
和歌山県	5 ~ 12	2 ~ 4	1 ~ 3	40 ~ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
滋賀県	足元の山積み減少に伴って指値価格は下落している。需給バランスが崩れている今、当然指値価格で受注している企業も散見される。また滋賀、近畿にかかわらず東海、中国地方でも特定の特約店が安価受注を繰り返している傾向。小規模物件ではあるがことごとく同業が受注に失敗している状態が見られる。絶対的な否定ではなく我々と共存するための策が求められている。コロナ禍ではあるが支部として何か対策を講じるべきと思う。
京都府	夏頃にかけて仕事量は薄いままです。秋口から増えてきそうな気配はあります。加工単価は下がったままなのでしばらくは苦しい時期が続くそうです。予算取りの見積と実施に向けた見積とが混在している。夏頃までは地場小規模物件が多数ある見通し。高炉の生産数量が減少しており鋼材・ボルト・副資材共生産量が縮小している納期に留意し発注していかなければと思います。来月ぐらいから資材の価格が上がるようなので見積時には注意していきたい。夏以降の仕事状態がコロナの変異株の感染拡大により見通しがつかない。
大阪府	見積件数が少なく先行き不安。新規物件の動きはもう少し先延ばしのように思われる。ボルト、鋼板、コラム、H形鋼等の値上げもまだ進みそう。かつ、コラムの納期が6ヶ月待ちなど、材料は中々入ってこないし、均一な工程を組み立てるのには大変な時期にある。コロナの新規感染者が増加、高止まり傾向にあり、総会の開催も危ぶまれている。
兵庫県	鋼材の価格が高止まりしており、まだ上昇するとの見方が強い。加工費も厳しい数字を要求されるとの声も聞こえてくる。三回目の「非常事態宣言」も近く発令されるとのことで今後が増々心配になってくる。昨年の今頃は第1回目の非常事態宣言中で「来年の今頃はマシになっているだろう」と思っていたのが、悪化している。 来年の今頃に期待したい。
奈良県	・見積もり件数が増えて来ており、夏以降はそれなりに、仕事量の確保が出来ると考えています。 ・小物件でも単価が下がっている現状ですが、併せて、材料単価を注視する状況が続くと思われます。 ・引き続き、鋼材単価の値上げに注意し、同じ案件が出る事により、値を競う形になって来ています。
和歌山県	見積物件は、先月よりは増えてきましたが、まだまだ少ない状況です。鋼材・副資材の値上げ傾向で、見積価格が厳しくなっている。HグレードとMRグレードの受注状況に差が出てきている。新型コロナウイルス感染者が増加傾向にあり、今後の景気動向を注視したい。

< 中国支部 > 状 況 報 告 書

2021年(令和3年) 3月分

(A)

提出日 2021年(令和3年) 4月12日

①全構協推進事業の現状			②支部活動状況	
都道府県	各県組合活動・行事等		中国支部活動・行事等	
鳥取県	5 日(金) 次世代の会例会 16 日(火) 理事会 19 日(金) 「溶接ヒューム」規制対応講習会 31 日(水) 意見交換会		5 日(金) 中国支部会(広島) 9 日(火) 全構協:三役会 18 日(木) 全構協:三役会 全構協:理事会 (理事はリモート)	
島根県	18 日(木) 青年部会 役員会(浜田市) 23 日(火) 2021年度工場審査(前期)説明会(浜田市) 24 日(水) 2021年度第1回役員会(出雲市)			
岡山県	18 日(水) 理事会(岡山市)			
広島県	10 日(水) 県中小企業団体中央会 理事会 30 日(火) 三役会(決算等)			
山口県				

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
鳥取県	5 ~ 10	2 ~ 5	2 ~ 3	70 ~ 100			○			
島根県	3 ~ 4	1 ~ 3	0.5 ~ 1	30 ~ 90			○			
岡山県	9 ~ 10	2 ~ 4	1 ~ 3	50 ~ 100			○			
広島県	7 ~ 14	1 ~ 7	1 ~ 3	40 ~ 100			○			
山口県	3 ~ 4	1.5 ~ 5	1 ~ 3	30 ~ 110			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
鳥取県	大きな動きはないが企業格差は変わっていないようだ。H鋼も高値で落ち着いているがスクラップが落ち着かないので値上がりも懸念される。HTBとC型はまだ値上がりするため引き続き受注価格の下落を注意したい。
島根県	3月末までは、仕事量が少なく非常に厳しい状況であった。4月以降については、少しずつ引き合い・受注物件が出て来ているファブもあるものの、数は少なく小規模物件中心の状況で、夏場辺りまでは状況は大きく変わらない見込みである。また、仕事量が増えて来ないなか、鋼材価格の上昇が更に工事受注を厳しいものとしており、工事価格・市中相場の下落へ繋がるのではないかと気掛かりである。
岡山県	全体的に仕事量は少なめである。材料や副資材の値が上がり請負額が減っていく状況である。
広島県	今回の調査では、稼働率100%以上の回答企業が52%、70~90%の回答企業が40%で、70%未満の回答企業は8%だった。厳しい中、各社とも懸命に稼働率の確保に努めているが、先月に続いて低稼働(50%以下)の報告が複数見られる。手持ち工事量は、Hグレードでは7~14か月を確保するが、M以下では、3か月以下の企業の割合が約60%と、顕著な格差が生じている。見積もりは、大型物件について改善の兆しが見えるものの、100t~200t規模を中心に引き続き少なく、決定の遅れも顕著になってきており先行き不透明感(今後の需要回復への疑念)の増大に拍車をかけている。苦しい状況が続く中、安値受注するファブの報告がしばしば見られるが、業界全体のため、今一度頑張って、不採算受注の防止に取り組みたい。
山口県	Hグレードでは先月同様に加工が少ない状態が続いており、今後も数量が少ないため稼働率が上がらない様子。見積も今月は少なく、先々の鋼材価格が掴み難いため見積をしづらい。加工費もより安くするよう指示がある状況。M・Rグレードでは小規模物件を複数こなして仕事を確保している。公共・民間工事ともに希薄な状況で、隙間を埋めるために安い工事を受注したというファブもいるが、今後はそのような工事をとらないで済むよう努力したいと話す。見積があっても計画予定の案件が多く「見通しが不透明」「今後かなり厳しいと思う」「単価がかなり下がっており経営面で厳しくなっている」など不安の声も多い中、価格交渉は慎重に対応し、適正価格で受注できるように努力していると話すファブが多い。HTBの値上げの通知や鋼材価格もまだ上がるとの話もあり、今後の影響について危惧している。

＜ 中国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2021年(令和3年) 4月分

(A)

提出日 2021年(令和3年) 5月10日

①全構協推進事業の現状			②支部活動状況	
都道府県	各県組合活動・行事等		中国支部活動・行事等	
鳥取県	30 日(金)	監査役会	9 日(金)	全構協:全国事務局長会議
鳥根県	23 日(金)	2021年度 第2回 役員会、通常総会(浜田市)	20 日(火)	中国支部会(広島)
岡山県	27 日(火)	理事会(岡山市)	21 日(水)	全青会:3地区会長WEB会議
広島県	16 日(金)	組合 会計監査(令和2年度決算)		
	27 日(火)	三役会 理事会		
山口県	8 日(木)	(前期)性能評価事前説明会		
		三役会議		
	22 日(木)	組合会計監査		
		第1回理事会		
	30 日(金)	青年部役員会		

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
鳥取県	4 ～ 8	2 ～ 4	1 ～ 4	70 ～ 90			○			
鳥根県	3 ～ 4	1 ～ 3	0.5 ～ 1	30 ～ 100			○			
岡山県	9 ～ 12	2 ～ 10	2 ～ 5	20 ～ 100			○			
広島県	9 ～ 10	3 ～ 5	1 ～ 6	50 ～ 120			○			
山口県	4 ～ 5	1.5 ～ 5	1 ～ 3	30 ～ 120			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
鳥取県	先月と大きな動きはないが、企業格差はまだあるようだ。鋼材価格はすでにプレート・軽量鉄骨は値上げしているので受注価格には注意したい。ただし市場では鋼材商社の安値受注が出ており、これに引きずられないように情報交換と連絡を密にしていかなければならないとおもわれる。
鳥根県	4月に入り、少しずつ小規模案件の引合い・受注物件が出て来ている模様、構成員企業の事業の核となる大・中規模の工事は無い。また、鋼材価格の上昇が更に工事受注を厳しいものとしている。先行きの不透明感に変わりはなく、工事価格・市中相場の下落は是が非でも避けたい。
岡山県	非常に厳しい状況になりつつあります。材料に加えて副資材関係も価格が上がり、請負金額は下がりつつある。全体的に仕事量も減少。ただし、夏以降盛り返すファブもあるが安心しきれない状況です。
広島県	今回の調査では、稼働率100%以上の回答企業が23%と前月に比べ半減し、70～90%の回答企業が40%から70%に増加するなど稼働率の低下がはっきりと窺える。また、先月に続き、明らかな低稼働(50%以下)の報告が複数見られる。手持ち工事量は、Hグレードは9～10か月を確保するが、M以下では4か月以下の企業の割合が約80%と、引き続き、顕著な格差が出ていている。見積もりは、年度当初でもあり、改善の兆しが見えるものの、物件の小型化、決定の遅れ、無理な指値の横行などが顕著になってきており、多くのファブにおいて、先行きの不透明感(秋以降の需要回復への懸念)は拭い去られていない。緩やかだが出口が見えない閉塞状況が長く続く中ではあるが、業界全体の利益のため、今一度頑張っ、不採算受注の防止に取り組みたい。
山口県	Hグレードでは今月も加工が少ない状況が続いているが、連休明け頃から新規物件の加工が始まるため若干稼働率が上がるのでは無いかと話す。M・Rグレードでは小規模物件が多く、地域によっては官民間問わず案件が激減している。補修、メンテナンス等の工事案件がある程度で、同業者の手伝いで何とか稼働率を確保している状況。今後の見通しも依然不透明のままで、首都圏での緊急事態宣言発令やオリンピック開催の有無を含め市況にどのような影響を与えるのか掴みづらい。今は受注量に固執せず、手出しの少ない方法を模索する時期では？と話すファブや同業他社との仕事のシェア、共同受注等の創意工夫での対応、材料の値上げが厳しいためしっかりと価格転換するように心がけている等、各社前向きな対応に努めている。

＜ 四国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2021年(令和3年)3月分

(A)

提出日 令和3年4月12日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	四国支部活動・行事等
徳島県	9日(火) 第11回情報交換会・理事会 15日(月) 大日本塗料・ダイニッカとの塗料会議	
香川県	10日(水) 第6回理事会 16日(火) 塗料検討会 19日(金) ハンドガン実演検討会 25日(木) 青年部役員会	
愛媛県		
高知県	10日(水) 理事会 29日(月) 知事面談	

(B)

①受注物件件数(ヵ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
徳島県	3 ～ 5	1 ～	1 ～ 2	80 ～ 100			○			
香川県	2 ～ 3	2 ～ 5	～	80 ～ 100			○			
愛媛県	2 ～ 9	2 ～ 4	1 ～ 3	60 ～ 100			○			
高知県	5 ～	1 ～ 5	1 ～ 3	70 ～ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
徳島県	3月の物件報告数は、前月より若干増加しているが、県内物件はまだ少ない状況。仕事量の確保は必要だが、材料費の値上がり、受注単価の値下がりのため、安値受注しないよう注意が不可欠。新年度になっても先行き不安。
香川県	見積もり物件は、少なく状況が続いており、特に200トン前後の物件は非常に少なくMグレードの先行きは見えてこない。また、鋼材、副資材等が高騰しており受注価格に反映されず価格面でも下降傾向にある。
愛媛県	今月は上位グレードでも稼働率が落ちたところがある。数ヵ月先の受注量は確保しているが、足元の受注残が少なかった。受注単価についても県内外の大型物件、地場中小物件ともに下げ気味である。
高知県	見積件数は昨年終盤と比較すると若干増加傾向であるがまだまだ少ない。価格も不安いっぱい。

＜ 四国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2021年(令和3年)4月分

(A)

提出日 令和3年5月11日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	四国支部活動・行事等
徳島県	5日(月) 第1回情報交換会・理事会 15日(木) 会計監査 21日(水) 北部支部会・南部支部会・西部支部会 23日(金) 徳島支部会 24日(土) ゴルフコンペ	
香川県	7日(水) 性能評価工場審査 8日(木) フルサト工業 エアーラップ静電ハンドガン実演会打合せ 13日(火) 建築鉄骨製品検査学科講習会案内をHPにアップ 16日(金) 中讃支部会 19日(月) 西讃支部会 21日(水) 第1回理事会	
愛媛県	14日(水) 監査会 21日(水) 理事会	
高知県	27日(火) 理事会	

(B)

①受注物件件数(ヵ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
徳島県	2 ～ 6	1 ～ 3	1 ～ 2	70 ～ 100			○			
香川県	2 ～ 3	2 ～ 4	～	80 ～ 100			○			
愛媛県	3 ～ 8	2 ～ 4	1 ～ 3	70 ～ 100			○			
高知県	5 ～	1 ～ 5	1 ～ 3	70 ～ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
徳島県	4月の物件報告数は、前月比75%と年度初めのためと思われるがダウンしている。材料、副資材、消耗品すべてが値上がりしてきている。 安値受注は、自社の首をしめることになるのでやめること。コロナ感染対策も絶対必要。一段と厳しい状況。我慢の継続。
香川県	昨年同時期と比較すると極端な落ち込みは少ないが前月同様、見積もり物件は少ない状況が続いている。特に100トン以上の物件は非常に少なくMグレードの夏以降の先行きは見えてこない。
愛媛県	今現在の稼働率は忙し過ぎず、暇でもなくそれなりとの事で作業時間内で残業無しでの工場稼働が大半である。そんな中、端境期となり3～4月に掛けて手持が少なかった工場では仲間内での協力により100%の稼働率となり、組合内での協業がうまく運んでいるケースもある。 先行きについては、山積みが上がってきていないとの声があり、不透明感が。
高知県	相変わらず見積・仕事量の少ない状況が続いており、今後も不安である。価格も厳しい状況である。

＜ 九州支部 ＞ 状 況 報 告 書

2021年(令和3年) 3月分

(A)

提出日 令和3年4月2日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	九州支部活動・行事等
福岡県	3/4 理事会、全体会議、「特化則改正」説明会(青年部との共催) 3/17 性能評価説明会(令和3年度前期申請工場対象) 3/30 性能評価工場審査(Mグレード1社)、3/31 性能評価工場審査(Mグレード2社)	3/10 九州支部H部会 役員会、パトロール委員会、例会
佐賀県	3/8・30 審査サポート 3/19 第7回理事会 溶接ヒューム法改正説明会開催 3/23 中央会情報連絡会議	
長崎県	3/2 R3.前期性能評価工場審査事前説明会、3/9 第2回総務・経対委員会、 3/19 検査・技術委員会WGLとの来期事業打合せ、第8回理事会、3月例会、改 正特化則に関する説明会開催、3/23 長崎県建築鉄骨研究会運営委員会参加、 3/26 青年部第1回役員会	
熊本県	3/17 理事会・定例会開催(Web併用) 3/27 青年部会例会 3/25・26 特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者』講習会	
大分県	3/7NDI-UTレベル2(10年目更新)実技試験 3/11青年部三役会、親会三役会、 全員協議会、溶接ヒューム勉強会、懇親会 3/30令和4年4月認定申請予定者 向け説明会(WEBにて実施)	
宮崎県	3/5 第5回青年部会幹事会開催 3/7 産業技術専門校修了式出席 3/11 事務局研修会WEB参加(中央会主催) 3/19、25 工場パトロール実施(3社) 3/26 鉄工技能士受験説明会開催	
鹿児島県	3/9理事会 3/27四役会	
沖縄県	・3/2日:定例理事会、9日:営業部会、12日:建産連主催勉強会出席、16日:青年部 会懇親会、18日:中央会開催セミナー、25日:建産連臨時役員会、26日:溶接 ヒュームに係る改正法令説明会、29日:全構協会長-専務理事との意見交換会	

(B)

①受注物件件数				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
福岡県	3 ～ 9	2 ～ 3	1 ～ 2	80～100			○			
佐賀県	6	2 ～ 7	0.5 ～ 2	70～100		○				
長崎県	3 ～ 6	2 ～ 5	—	50～90		○				
熊本県	7 ～ 8	2 ～ 7	2 ～ 3	88.6			○			
大分県	6 ～ 10	2 ～ 5	—	75～100			○			
宮崎県	4 ～ 6	3 ～ 6	0.5 ～ 3	30～100			○			
鹿児島県	6 ～ 12	1 ～ 7	1 ～ 2	10～100			○			
沖縄県	2 ～ 3	1 ～ 2	1 ～ 2	60～100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
福岡県	各社の仕事量にバラつきがあり、今後の受注単価の下落と鋼材価格の高騰が懸念される。
佐賀県	・鋼材、副資材の値上げで利益確保が厳しくなっている。 ・見積りが少ない。小物件が多くなっているが、100t位の中物件が少ない。
長崎県	足元の薄い状況は変わらず、すぐに改善するのは難しい。ただし見積り物件が増えているので夏以降は持ち直すのではないかと。 コロナ禍で延期または中止となった物件が発注され、市況が盛り上がりつつあることに期待したい。
熊本県	概算見積りが少し増えてきた。 指値が厳しくなってきた。(材料が高くなってきたにもかかわらず…)
大分県	◎単価が下がっており、ゼネコンからの指値は非常に厳しい。低すぎる単価で受注しないように努力していく必要がある。◎5月頃より稼働率は高くなりそう。◎概算見積りは多いが、正規見積りは少ない。6、7月から多くなる見込み。
宮崎県	・夏頃までは物件数も少なく、ゼネコンや商社からの指値が厳しくなっている。 ・設計見積り件数については僅かながらが増えている。
鹿児島県	3月に入って見積り件数が少し増えつつある。材料の値上がりによる仕事の減少が心配だが、目先にとらわれずしばしガマン。安易に安値に飛びつく必要はないと思う。
沖縄県	・小規模物件の見積り件数は少ないが、新規の大型物件の引き合い件数が増えてきている。

< 九州支部 > 状 況 報 告 書

2021年(令和3年) 4月分

(A)

提出日 令和3年5月7日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	九州支部活動・行事等
福岡県	4/13 福岡県建築鉄骨協議会第1回運営委員会 4/15 全構協九州支部 理事長会議、4/23 会計監査 4/20 性能評価工場審査(Mグレード2社) 4/26 性能評価工場審査(Mグレード1社、Hグレード1社)、4/27 定例理事会	4/6、4/12 支部会計監査 4/16 支部事務局WEB会議 4/21 第1回支部理事会(対面・WEB併用)
佐賀県	4/5 性能評価審査 4/16 組合会計監査 4/28 第7回 理事会	
長崎県	4/8 第1回講習会WG会議、4/9 総務経対 正・副委員長打合せ、4/15 会計監査、4/16 第1回総務・経対委員会、4/19・20「特化物作業主任者技能講習」出張講習会、4/22 鉄骨研究会 会計監査、4/23 第1回理事会、4/27 第1回性能評価WG会議	
熊本県	4/16・23 性能評価 工場審査 4/19 令和2年度 会計監査 4/26 鉄骨問題協議会技術委員会 4/28 理事会	
大分県	4/6、7、8工場審査事前打合せ 4/12、4/15工場審査 4/16会計監査 4/23青年部役員会、青年部会計監査 4/28三役会、理事会、認定部会(WEBと対面併用)	
宮崎県	4/8 産業技術専門校入校式出席 4/20 産業技術専門校運営会議出席 4/21 組合会計監査 4/23 第1回理事会開催	
鹿児島県	4/13共済推進定例会議 4/20決算監査 4/23理事会 4/27青年部会役員会	
沖縄県	・4/6日:定例理事会、13日:営業部会、20日:組合監査、23日:性能評価工場審査、27日:性能評価工場審査	

(B)

①受注物件件数				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
福岡県	3 ~ 8	2 ~ 3	1 ~ 2	70~100			○			
佐賀県	6	2 ~ 6	1 ~ 4	70~100			○			
長崎県	3 ~ 6	2 ~ 3	—	50~90		○				
熊本県	7 ~ 8	2 ~ 7	2 ~ 3	83.1			○			
大分県	8 ~ 12	2 ~ 3	—	60~100			○			
宮崎県	5 ~ 6	2 ~ 4	1 ~ 3	30 ~ 100		○				
鹿児島県	5 ~ 12	1 ~ 8	0 ~ 2	10~100			○			
沖縄県	1 ~ 3	1 ~ 2	1	70~100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
福岡県	各社の仕事量にバラつきがあり、今後の受注単価の下落と鋼材価格の高騰が懸念される。 また、新型コロナの感染拡大に伴い組合事等の計画が立てづらい状況。
佐賀県	・受注単価が下がっている。組合員外のファブが単価を安くしているのが見受けられる。 ・工場稼働率はそれほど落ちてはいないが、見積りが少ない状況で先行きが懸念される。
長崎県	直近の物件を確保していくのは難しく、足元の少ない状況は続いている。ただし、見積り物件数は確実に増えているので価格の設定と交渉はしっかりと検討したい。厳しい状況ではあるが山積みを埋めるためだけの受注は控えたい。
熊本県	概算見積りが少し増えてきた。指値が厳しくなってきた。(材料が高くなってきたにもかかわらず) 商社の動きが顕著になってきた。
大分県	◎受注決定、図面の承認が遅く、短納期な現場が多い。100Tを超える物件の引合はあまり減っていない。小物件は少ないように感じる。◎計画段階の見積もりが増えているので期待したいところではあるが、ゼネコンの指値が厳しいのと鋼材単価の上昇が不安材料です。
宮崎県	全グレードで手持ち工事量、稼働率共に昨年に比べ減少傾向にあり、一昨年と比べると減少幅は更に大きくなっている。 新型コロナの影響による経済の停滞が鉄骨工事の需要に影響しており先行き不透明である。
鹿児島県	見積り件数は増加しつつあるが、時期が未定で先が見えない物件も。鋼材溶材の値上げにもかかわらず見積りはかなり安い。
沖縄県	・見積り件数は、少ない状況が続いている。M・Rは先行きが見えない。